

学 報

No. 144

平成30年5月10日発行

上越教育大学

(掲載期間：平成30年3月1日～平成30年4月30日)

目 次

◇平成29年度上越教育大学学位記授与式……………1	◇人 事……………18
■学長告辞	■新役員紹介
◇平成29年度上越教育大学卒業証書・学位記授与式……………5	■人事異動（役員及び常勤職員）
■学長告辞	■学内委員会委員等
◇平成30年度上越教育大学大学院入学式……………8	◇一般通報事項……………57
■学長告辞	■役員会
◇平成30年度上越教育大学入学式……………11	■経営協議会
■学長告辞	■教育研究評議会
◇学 事……………14	■教授会
■大学院入試（後期募集）	■平成29年度上越教育大学国際交流のつどい
■大学院入試（第2次学生募集）	■情報セキュリティ監査の実施
■学部一般入試（後期日程）	■上越教育大学コア・サイエンス・ティーチャー（CST）認定証授与式
■平成29年度兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科の学位記授与式	■平成29年度ハラスメント防止研修
■平成30年度兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科の入学式	■教育諮問会議答申
■学生表彰式	■平成29年度退職者永年勤続表彰状授与式
■平成29年度課外活動団体リーダーズ・トレーニング研修	■（公財）上廣倫理財団からの寄附研究部門として上廣道徳教育アカデミーを設置
■平成30年度新入生オリエンテーション	■学生用プリンタ（印刷ステーション）のポイント化及び大判プリンタの有料化
■情報セキュリティ講演会	■有料プリンタの設置
■新入生ノートパソコン準備講習会	■平成30年度図書館案内ツアー
■平成30年度新入生合宿研修	■第1回研究基礎講座
	■公開講座・免許法認定公開講座
	■海外渡航
	◇関係資料……………74
	◇主要日誌……………78

平成 29 年度上越教育大学学位記授与式

平成 29 年度の学位記授与式が 3 月 19 日（月）午前 9 時 30 分から本学講堂で挙行された。

式は、国歌演奏、学位記授与、学長告辞、修了生代表答辞、来賓紹介と進行し、記念演奏をもって閉会となった。

学長告辞は次のとおりである。

学 長 告 辞

学長 川 崎 直 哉

雪に埋もれていた地面から、草花の緑が見え始め、高田公園の桜もつぼみが膨らんで、吹き抜ける風に春の独特な香りを、感じる頃となりました。

本日、学位記を授与された 265 名の皆さん、修了、誠におめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。また、ご多用のところ、学位記授与式にご臨席を賜りましたご来賓の皆様には、深く感謝申し上げます。

修了生の皆さん、2 年もしくは 3 年間の大学院での学究生活はいかがだったでしょうか。修了生の皆さんが学位を手にすることができたのは、皆さんのたゆまぬ努力があったことはもちろんですが、その努力は、家族、友人、大学教職員、地域の方々や、現職大学院生の方は、上司、同僚、教育委員会や地域の方々など多くの人たちによって支えられた結果ですので、その人たちへの感謝の気持ちを忘れないでいただきたいと思います。

さて、最近では、人工知能（A I）やロボットなどの科学技術が産業を大きく変革し、最近では第 4 次産業革命という言葉が良く聞かれます。「蒸気」という新しい動力が出現した第 1 次産業革命。続く第 2 次産業革命では「電気」と「石油」による大量生産が実現しました。第 3 次産業革命では「コンピューター」が登場し自動化が進みました。そして、第 4 次産業革命ではさまざまなモノがインターネットにつながり、それを人工知能（A I）が制御し、ロボットが活躍するようになると言われています。

10～20 年後には国内労働人口の半分近くにあたる職業について、A I やロボットに取って代わられる可能性が高いという推計を、国内の研究所も発表していることなどもあり、今の子供達が日本や世界を支える年代になったときには、想像もできないような社会になっていると思われます。

また一方で、社会のグローバル化が進み、2020 年に開催される東京オリンピックなどでは、さらにグローバル化を実感することになるでしょう。ちなみに、この会場でも、今年度は 12 名の留学生の皆さんに、学位記が授与されました。

グローバル化は今に始まったことではなく、これまでも海外から技術、文化をはじめ、様々なものが日本に影響を与え、また、日本の様々なものが海外の国々に影響を与えて来ました。これからは、これまでに以上に、世界の中にある日本を見つめ、国や地域を考え、自分の置かれた立場を考えることが必要になります。

皆さんには、技術革新の中で逆に人間とは何かを問い、世界を見据えて、世界の人々とともに、人類の平和と幸せのために、自分は何が出来るのかを考えて行くような「気概」を持って頂きたいと思います。教師として一社会人として、変わらないものや変えてはいけないものは何か、変化に対応しなければならないものは何かを、常に意識して考えて行く必要があります。そして、それらを教育を通して子供達に伝えていってください。

これからの教育においては、子供達の学ぼうとする力や気持ちを、引き出すことができることが重要です。子供達の個性や性格を的確に把握し、子供達が自ら学ぼうとする意欲を高めることが、大きな教育成果につながります。そのためには、教師が人を思いやる心を強く持ち、子供達一人ひとりに誠実に向き合うことが必要です。学校現場では、こなさなければならない用務が多く、教師はきつい職業だという風潮が広がってきています。そのような中では、子供達一人ひとりに誠実に向き合うということが、実際には難しいと言うかもしれません。しかし、それが教師に求められる最大の使命であり、子供達一人ひとりを理解することが、教師としてのやりがいや喜びにつながります。

そして、皆さん、自らが学ぼうとする意欲を持ち続けてください。自ら学び続けてこそ、子供達に学ぶ楽しさや学ぶことの意味を伝えることが出来ます。子供達の学ぼうとする気持ちを引き出すことができれば、子供達はスポンジが水を吸収するように、多くのことを自分のものにします。是非、そのような教師になって下さることを願っています。

本学で学ばれた皆さんは、多くの経験をされ、いろいろな能力を身につけたことと思います。それらの能力は、学校教育現場で役に立つものであり、まさに実践力と言えるものです。また、課題解決のためには、顕在的能力に加えて潜在的能力や教師としての基礎教養も不可欠です。皆さんには、潜在的な能力も十分に培われたものと確信しています。現職の人これから教師となる人も、どうか自信を持って教職につき、さらに自らの能力を高めていってください。

これから学び続け、充実した教師生活を送るために、自分を支えてくれる人の存在は欠かせません。時には大きな課題に立ち向かわなければならず、途方に暮れることもあるでしょう。そのときこそ、家族や先輩、同僚、友人などの支えが頼りになります。時には自分が教えている子供たちが、支えになるかもしれません。皆さんには、上越教育大学で出会った友人や教職員、地域の人たちとの強い絆があるはずですよ。もちろん大学もゼミ教員をはじめ、いつでも皆さんに門戸を開いています。遠慮なく大学の門をたたいてください。

最後に、教員をしているものにとっての「気構え」として知られている、作者不詳の詩、「私が先生になったとき」をご紹介します。すでにご存じの方も多いかもしれませんが、あらためてお聞きください。

私が先生になったとき
自分が真実から目をそむけて
子どもたちに本当のことが語れるのか

私が先生になったとき
自分が未来から目をそむけて
子どもたちに明日のことが語れるのか

私が先生になったとき
自分が理想を持たないで
子どもたちにいったいどんな夢が語れるのか

私が先生になったとき
自分に誇りを持たないで
子どもたちに胸を張れと言えるのか

私が先生になったとき
自分がスクラムの外にいて
子どもたちに仲良くしろと言えるのか

私が先生になったとき
ひとり手を汚さず自分の腕を組んで
子どもたちにガンバレ、ガンバレと言えるのか

私が先生になったとき
自分の闘いから目をそむけて
子どもたちに勇気を出せと言えるのか

これからも健康に十分注意して、多くの子供たちから慕われ、いつかは先生のようにになりたいと思われる教師となってください。皆さん一人ひとりが自らの手で輝かしい未来の扉を開け、人生を充実したものとされるよう心より祈念し、告辞と致します。



平成29年度上越教育大学卒業証書・学位記授与式

平成 29 年度の卒業証書・学位記授与式が 3 月 19 日(月)午前 11 時 20 分から本学講堂で挙行された。

式は、国歌演奏，卒業証書・学位記授与，学長告辞，卒業生代表答辞，来賓紹介と進行し，記念演奏をもって閉会となった。

学長告辞は次のとおりである。

学 長 告 辞

学長 川 崎 直 哉

長かった冬もようやく終わり，高田公園の桜もつぼみが膨らんで，吹き抜ける風に春の独特な香りを感じる頃となりました。

ただいま卒業証書を授与された 162 名の皆さん，ご家族の皆様，ご卒業誠におめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。また，ご多用のところ，ご臨席を賜りましたご来賓の皆様に心より感謝申し上げます。

さて，卒業生の皆さん，本学での 4 年間に渡る学園生活はいかがでしたか。いろいろな思い出が出来たことでしょう。卒業生の皆さんが，本日晴れて卒業できますのは，皆さんの努力があったことはもちろんですが，家族，友人，教職員，地域の方々など多くの人たちの支援があったことを決して忘れないでください。

さて皆さんは第 4 次産業革命という言葉を知っていますか。第 4 次産業革命と呼ばれる最近の科学技術の発達により，さまざまなモノがインターネットにつながり，それを人工知能（A I）が制御し，ロボットが活躍するようになっていわれています。私自身の専門とも関係するのですが，1990 年代後半からロボット学会の有志で 2050 年を目標に，人間のサッカーワールドカップ優勝チームと人間型ロボットのチームが対戦して，ロボットチームが勝利することを目指すプロジェクトが開始されました。当時は，夢のような話でしたが，最近ではジャンプや宙返りをする人間型ロボットが開発されるなど，本当にそれが実現できるのでは，しかも 2050 年以前に実現できるのではないかと思えるような，急速な進歩を遂げています。

科学技術の進歩，交通や情報網の発達等で，私たちを取り巻く社会は急激に変化し，生活様式や人々の価値観にまで影響を及ぼしています。今の子供達が日本や世界を支える年代になったときには，想像もできないような社会になっていると思われます。

このような社会の中，子供達には「自ら主体的に学ぶ力，コミュニケーション能力を伴った対話的な学

び、論理的思考に基づく深い学び」など、未来を生きるための力を身につけることが求められ、教育現場にもその対応が求められています。子供たちがどのような能力を身につけるかは、教育に委ねられており、教師の責任は重大であると言えます。

皆さんが教師となった時、教師自らが学ぼうとする意欲を持ち続けてください。これはどんな職業でも同じです。自ら学び続けてこそ、子供達に学ぶ楽しさや、学ぶことの意味を、伝えることが出来ます。子供達の学ぼうとする気持ちを引き出すことができれば、子供達はスポンジが水を吸収するように、多くのことを自分のものにします。是非、そのような教師になることを願っています。

皆さんは、大学生活の中で、自身が目指す教師あるいは社会人になるために、大学の授業はもちろん、部活やボランティア活動、アルバイトなど様々な形で多くの人々と接し、その中から様々なことを学び、身につけてきたことでしょう。それは、皆さんが教壇に立ったとき、社会人となったとき、必ず役に立ちます。特に教育現場では、これまでに獲得した知識・技能、経験、失敗までもが日々の教育に生かせることでしょう。

本学で学ばれた皆さんは、教師として社会人としての資質能力を十分に身につけて頂いたと思います。どうぞ自信を持って、教壇に立ち、あるいは社会に羽ばたいてください。常に周りからの情報を収集することを忘れず、周囲の人たちとの良好な協力関係を築くよう努力することを、忘れないでください。

時には大きな課題に立ち向かわなければならず、途方に暮れることもあるでしょう。そのときこそ、家族や先輩、友人などの支えが頼りになります。皆さんには、上越で得た友だちや教職員、地域の人たちとの強い絆があるはずです。もちろん大学もゼミ教員をはじめ、いつでも皆さんに門戸を開いています。遠慮なく大学の門をたたいてください。

ところで、日本が国のテーマとして掲げている「地方創生」に関わって、「若者、ばか者、よそ者」という言葉が良く使われます。地域の現状を変革するのは、

「若者」：情熱を持ってチャレンジできる力

「ばか者」：固定観念や過去の慣習に捕われずに、活動に打ち込める力

「よそ者」：外部から物事を客観視して見る力

これらの3つの力が必要であり、全国で地域おこしに成功したところには、必ずこの3種の人材がいる、というものです。この考えは学校をはじめ、全ての社会単位に共通する事柄で、この3つの力が合わさって、成果を発揮することは間違いありません。このうち、皆さんはまず「若者」となって社会に羽ばたくことになります。経験を積み、いろいろな勤務先・赴任校を経ることで、やがてここで言う「ばか者」や「よそ者」になり、それまで以上に大きな力を発揮するようになるでしょう。

健康に十分注意して，多くの子供たちから慕われ，いつかは先生のようになりたいと思われる教師となってください。皆さん一人ひとりが自らの手で輝かしい未来の扉を開け，人生を充実したものとされるよう心より祈念し，告辞いたします。



平成 30 年度上越教育大学大学院入学式

平成 30 年度の大学院の入学式が 4 月 6 日（金）午前 9 時 30 分から本学講堂で挙行された。

式は、国歌演奏、学長告辞、入学生代表宣誓、来賓紹介、来賓祝辞、役員等紹介と進行し、記念演奏をもって閉会となった。

学長告辞は次のとおりである。

学 長 告 辞

学長 川 崎 直 哉

今年は特に多かった雪もいつの間にか消え、そこから新たな植物の芽生えが始まり、雪国独特の春の香りを感じます。高田公園の桜も満開となり、まるで皆様のご入学を祝っているかのようです。

本日、上越教育大学大学院に入学された 246 名の皆様、ご入学おめでとうございます。本学教職員、在校生を代表して心よりお祝い申し上げます。併せて、ご多用のところご臨席賜りましたご来賓の皆様に、深く感謝申し上げます。

さて、上越教育大学は、現職教員の資質能力の向上と、初等教育教員養成という社会的要請に応えるために設立された、新構想の大学です。大学院は修士課程と専門職学位課程いわゆる教職大学院を有し、教師としての専門的知識と、優れた実践的指導力を身につけた人材を養成することを目的としており、また、さらに高度な研究を希望する方のために、連合大学院博士課程も設置されています。そのため大学院全体の 2 割以上は学校現場の現職の教員が占めており、ここにおられる皆さんの中にも現職の先生方がおられると思います。その皆さんも本日から大学院で学ぶ学生となります。この 2 年間で、学校現場における実践的課題を解決できる力量を身につけられることを強く願っています。

一方、大学院全体の 7 割以上はいわゆる学部卒業生の皆さんであり、本学で 2 年もしくは 3 年間、現職の先生方と一緒に学ぶこととなります。これから教員を目指す皆さんには、その環境は願ってもないものとなりましょう。現職の先生方と日頃から接することにより、大学の授業以外でも、生の学校現場の状況や課題をごく身近に、本音で聞くことができ、それが必ずや皆さんが目指すであろう教員への道に、大きな力となってつながることでしょう。

皆さんが本学を修了して教師となり、その時に教える子どもたちが社会で活躍する頃は、どのようになっていると思いますか。今の子どもたちが活躍する頃の社会は、科学技術等の進歩とも相まって、現在では想像ができないほどの社会となっていると考えられることから、未来を生きる子供達は、自ら課題を解決する力を身につける必要があります。本学では子どもたちに対して、その能力を育成することのできる教員の養成を、目標として掲げています。

そのためには、教師が子供達の学ぼうとする力や気持ちを、引き出すことができることが重要です。子供達の個性や性格を的確に把握し、子供達が自ら学ぼうとする意欲を高めることが、大きな教育成果につながります。そのためには、教師が人を思いやる心を強く持ち、子供達一人ひとりに誠実に向き合うことが必要です。学校現場では、こなさなければならない用務が多く、教師はきつい職業だという風潮が広がってきています。そのような中では、子供達一人ひとりに誠実に向き合うということが、実際には難しいと言うかもしれません。しかし、それが教師に求められる最大の使命であり、子供達一人ひとりを理解することが、教師としてのやりがいや喜びにつながります。そのためにも、皆さん自身が学ぶべき多くの事柄があります。これから始まる大学院生活の中で、しっかり学んで頂きたいと思います。

知識として知っていることと、それを教えることは違います。ましてや高度専門職業人として「教えるプロ」なる教師に求められるものは、極めて高いことを自覚してほしいと思います。

例えば、小学校1年生では「さくらんぼ計算」という計算方法が一部で取り入れられていると伺いました。簡単に説明いたしますと、子供達は最初指を使って計算することもあり、また広く10進法が用いられていることなどから、10を基に計算しようというものです。例えば $8 + 5$ の計算では、8は10に比べて2だけ足りないことから、5を2と3に分けて、5の下側にサクランボのような図を描いて、サクランボの実に相当するふたつの丸の部分にそれぞれ2と3を入れ、2は8と併せて10とし、もう一方の3を10と合わせて、答えの13を得るというものです。

この方法は単に答えを暗記して結果を求めるのではなく、数の概念を意識しながら、順序立てた数の理解に関わる「序数性」のほかに、全体的な数の把握、量的な数の把握に関わる「基数性」の数の概念を身につけようと言うものだそうです。数を量的な概念で理解することは、これからの算数の学びに取って重要だとの指摘があります。

子供達のつまずきは多様です。計算そのものが出来ない子、計算は出来ても暗記によって答えを出し、基数性などの数の概念までを理解できない子、数の概念までを理解できているが計算そのものが遅い子、など教師が個々の子供達を理解していないと、子どもの多様なつまずきにも対応できません。

学年が進めばさらにつまづくことも多くなるかもしれません。マイナス×マイナスはプラスになることや、 $\sqrt{2}$ の様な無理数が数直線上では示すことが出来るのに、なぜ小数では表すことが出来ないのかなど、我々が無意識的に知っていると思っている事柄も、子供達それぞれに応じた疑問が出てくることでしょう。

それらを教師が子どもたちにどのように教え、またそれを受けて、子どもたちがどのように考え、

どのように理解するか、その時にどのような反応になるか、そのような問題を子供達に応じて対処・指導できる力量をもった教師こそ、本当の高度専門職業人と言えます。今は、算数・数学の例をあげましたが、他の教科でも同様です。このように高度専門職業人としての教師に求められるものは、極めて高いことを認識してしっかり学んで、引き出しの多い教師になってほしいと思います。

今更申し上げることでもありませんが、学ぶということは何も大学の教員から学ぶだけではありません。むしろ、それ以外で学ぶことの方が大きいかもしれません。友人、先輩、地域の方など、皆さんがその気になればいくらでも学ぶことができます。上越教育大学の大学院に所属しているときに、人生で一番勉強したなと思えるくらい多くのことを学んで頂くことを期待します。また、大学としても、教員、カリキュラムなど環境を整えてしっかり対応します。

さて、いよいよ学究生活が始まります。本学の歴史は、今年、創立 40 周年を迎えるなど、長くはありませんが、教育界に大きな足跡を残していることは自他共に認めるところです。

海と山に近く、自然環境が素晴らしい、四季の移ろいが鮮やかな上越市の学びの館、上越教育大学で、健康に十分留意しながら、充実した 2 年、あるいは 3 年間、一部の現職の皆さんは 1 年間かもしれませんが、それぞれの大学院生活で、皆さんが心に期している目的を達成して、修了されますことを心より祈念し、告辞といたします。



平成 30 年度上越教育大学入学式

平成 30 年度の学部入学式が 4 月 6 日（金）午後 0 時 30 分から本学講堂で挙行された。

式は、国歌演奏、学長告辞、入学生代表宣誓、来賓紹介、来賓祝辞、役員等紹介と進行し、記念演奏をもって閉会となった。

学長告辞は次のとおりである。

学 長 告 辞

学長 川 崎 直 哉

今年は特に多かった雪もいつの間にか消え、雪解けの水が土に溶け込み、雪国独特の春の香りを感じます。高田公園の桜も満開となり、まるで皆様のご入学を祝っているかのようです。

本日、上越教育大学学校教育学部に入學された 167 名の皆様、ご家族の皆様、ご入学おめでとうございます。本学教職員、在校生を代表して心よりお祝い申し上げます。また、ご多用のところご臨席賜りましたご来賓の皆様に、深く感謝申し上げます。

さて、上越教育大学は、現職教員の資質能力の向上と初等教育教員養成という社会的要請に応えるために、設立された新構想の大学です。皆さんがこれから学ぶ学校教育学部の他に、大学院として修士課程と教職大学院を有し、さらに高度な研究を希望する方のために連合大学院博士課程も設置されている、教員養成のための総合大学と言えましょう。皆さんはこれからこの上越教育大学で 4 年間、学ばれるわけですが、教師としての専門的知識と、優れた実践的指導力を身につけた教師を目指して、しっかり学んでほしいと願っています。

さきほど、現職教員の資質能力の向上というお話をしましたが、実は大学院全体の 2 割以上は学校現場の現職の教師の皆さんが大学院学生として所属しており、そのため、キャンパス内では皆さんよりずっと年上の学生さんを多く見かけることと思います。このことは、これから教員を目指す皆さんには、その環境は願ってもないものとなりましょう。授業で一緒に学ぶ機会は少ないかもしれませんが、それでも現職の先生方と日頃からゼミなどで接することにより、生の学校現場の状況や課題をごく身近に、本音で聞くことができ、それが必ずや皆さんが目指すであろう教員への道に、大きな力となってつながることでしょう。

学校教育現場でも大きな変化が起こっています。皆さんもご存じとは思いますが、道徳が特別な教科として、小学校には 4 月から、中学校には来年度から導入されます。また小学校でも 5 年生から英語が教科として新しく加わり、その他にも情報活用能力・プログラミング的思考の重要性が指摘され、小学校にもプログラミング教育が導入されることになりました。このように、子どもたちが学ぶ内容

は常に変化し、新しいことが加わっています。それに伴い、教師の教える内容も増えてきています。

子供達には「自ら主体的に学ぶ力、コミュニケーション能力を伴った対話的な学び、論理的思考に基づく深い学び」など、未来を生きるための力を身につけることが求められ、教育現場にもその対応が求められています。子どもたちは、自ら課題を見つけ、答えの決まっていない問いを解決する力を身につける必要があります。子供たちがどのような能力を身につけるかは、教育に委ねられており、教師の責任は重大であると言えます。

そのためには、教師自らが学ぼうとする意欲を持ち続ける必要があります。自ら学び続けてこそ、子供達に学ぶ楽しさや学ぶことの意味を伝えることが出来ます。子供達の学ぼうとする気持ちを引き出すことができれば、子供達はスポンジが水を吸収するように、多くのことを自分のものにします。ここにおられる皆さんが将来、このような子どもたちを育てることのできる、「教えるプロ」になるために、大学としても教員やカリキュラムなど、教職員一丸となって環境を整え、しっかり対応いたします。是非、そのような教師を目指し、努力されることを願っています。

知識として知っていることと、それを教えることは違います。教師は単に教科書に沿って、知っていることを教えていると思ったらそれは大きな間違いです。例えば、映画監督が映画を撮影することを考えてみると、完成した映画には監督そのものは映り込んでいませんし、一般の観客から見ると映画の中では俳優のみが存在感を発揮するように見えます。しかし、映画の完成のためには、映画監督は実は、非常に高度な仕事を行っています。

台本を始め、情景や背景、画面のフレームワーク、編集時に挿入される音響効果など細部まで知り尽くしており、盛り込まれる芸術性や撮影効果の専門的知識、映画全体を通して観客に訴えたい事柄の解釈において、誰よりも卓越しています。さらに俳優1人ひとりの力・個性・創造性を最大限に引き出す能力を備え、その全てを最大限に発揮して実はカメラを回しています。そのことは映画監督が撮影前に非常に多くのリハーサルを行い、細かい指導で自分の理想に近づけようとすることでも分かります。その際には俳優と議論し、俳優の才能を伸ばすために臨機応変に対応し、シナリオを弾力的に変更するかもしれません。同じ原作でも、監督によって映画としての作品が大きく違ってくことは容易に想像できます。しかし、その高度な芸術性や専門的知識、精緻な分析力、俳優の創造性を最大限に引き出す能力などは、一般の観客が映画を見る時には見えるものではありません。

教師も同様で、教師の仕事ほど複雑で知的で芸術的で高度の創造性と専門性を求められる仕事はないと思っています。学校現場で子供達それぞれの個性を発揮させながら、クラスをまとめあげる学級運営などは、映画監督のそれと似ています。しかし、教師が持っている専門的知識や専門的能力のほとんどは、外からはっきり見えるものではありません。

このように、教師に求められるものは極めて高いこと、そのためには常に学び続ける姿勢が必要です。自分が学ぶ喜びを知ってこそ、それが教える喜びに繋がり、ひいては教え上手に繋がると考えています。教師が人を思いやる心を強く持ち、子供達一人ひとりに誠実に向き合うことにより、子供達の個性や性格を的確に把握し、子供達が自ら学ぼうとする意欲を高めることのできる教師を目指して、子供達の個性を伸ばすことのできる教師を目指して、この4年間学んで頂きたいと思います。

そのためにも、皆さんにはこの4年間で夢中になれるものを見つけ、これだけは他の人には負けない、これだけは自信がある、これだけは頑張ったというものを身につけて頂きたいと思います。例えば、資格の取得やボランティア活動でも良いでしょう。スポーツ、文化活動や部活・サークル活動で頑張るのも良いかもしれません。極端に言えば、高田城ロードレース大会完走や自転車で長距離走破などでも良いかもしれません。その経験は必ず教師となったときに支えとなると信じています。また、ここにおられる皆さんは、本学に全国から集う教師の卵です。そのため是非、大学では友人を見つけてください。大学で得た友人は一生の宝です。友だちとの絆を大切にしてほしいと思います。

さて、いよいよ学園生活が始まります。本学の歴史は、今年、創立40周年を迎えるなど、長くはありませんが、教育界に大きな足跡を残していることは自他共に認めるところです。

海と山に近く、自然環境が素晴らしい、四季の移ろいが鮮やかな上越市の学びの館、上越教育大学で、健康に十分留意しながら、充実した4年間の大学生活を送り、皆さんが、心に期している目的を達成できますよう心より祈念し、告辞といたします。



学 事

○大学院入試（後期募集）

平成30年度大学院学校教育研究科入学試験（後期募集）を次のとおり実施した。

修士課程は、募集人員90人（学校教育専攻35人，教科・領域教育専攻55人）に対し，応募者20人，合格者15人であった。

専門職学位課程（教職大学院）は，募集人員14人（教育臨床コース若干人，教育経営コース14人）に対し，応募者10人，合格者10人であった。

出 願 期 間 平成30年 1 月 25 日（木）～ 2 月 2 日（金）

試 験 日 平成30年 3 月 2 日（金）

合 格 発 表 平成30年 3 月 16 日（金）

○大学院入試（第2次学生募集）

平成30年度大学院学校教育研究科入学試験（第2次学生募集）を次のとおり実施した。

修士課程は，募集人員67人（学校教育専攻25人，教科・領域教育専攻42人）に対し，応募者4人，合格者2人であった。

専門職学位課程（教職大学院）は，募集人員9人（教育経営コース9人）に対し，応募者はなかった。

出 願 期 間 平成30年 3 月 5 日（月）～ 3 月 9 日（金）

試 験 日 平成30年 3 月 17 日（土）

合 格 発 表 平成30年 3 月 22 日（木）

○学部一般入試（後期日程）

平成30年度学校教育学部一般入試（後期日程）を次のとおり実施した。

募集人員33人に対し，応募者338人，合格者39人であった。

出 願 期 間 平成30年 1 月 22 日（月）～ 1 月 31 日（水）

試 験 日 平成30年 3 月 12 日（月）

合 格 発 表 平成30年 3 月 22 日（木）

○平成29年度兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科の学位記授与式

兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科（博士課程）の平成29年度学位記授与式が平成30年 3 月 24 日（土）に兵庫教育大学神戸ハーバーランドキャンパスにおいて行われた。

なお，平成29年度修了者18人のうち，本学の配属学生は2人である。

○平成30年度兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科の入学式

兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科（博士課程）の平成30年度入学式が平成30年 4 月 7 日（土）に兵庫教育大学神戸ハーバーランドキャンパスにおいて行われた。

なお，平成30年度入学者35人のうち，本学の配属学生は12人である。

○学生表彰式

学業が特に優秀な学生等を対象に、学生表彰式を実施し、表彰状を授与するとともに、記念品を贈呈した。

被表彰者氏名	期日	場所	表 彰 事 由
大学院学校教育研究科 学校教育専攻 グローバル・ICT・学習研究コース 1年 ちよう かぎよく 趙 嘉鈺	平成30年3月6日 (火)	第一食堂	平成29年度J. TEST実用日本語 検定 特A級に認定
学校教育学部 学校教育専修 言語系コース（国語）4年 やまもと ともみ 山本 友美	平成30年3月19日 (月)	講堂	学業成績優秀者
学校教育学部 教科・領域教育専修 幼児教育コース 4年 まつうき か な 松浮 加奈	平成30年3月19日 (月)	講堂	学業成績優秀者
学校教育学部 教科・領域教育専修 言語系コース（国語） 4年 きたもと りょうた 北本 凌太	平成30年3月19日 (月)	講堂	学業成績優秀者
学校教育学部 学校教育専修 臨床心理学コース 4年 かわだ ゆうや 川田 雄也	平成30年3月19日 (月)	講堂	独立行政法人国立青少年教育 振興機構において、国立妙高青 少年自然の家のボランティアと してその活動が他の模範として 高く評価され表彰された。
大学院学校教育研究科 （専門職学位課程） 教育実践高度化専攻 教育臨床コース 2年 きちない もとこ 吉内 元子	平成30年3月19日 (月)	講堂	独立行政法人国立青少年教育 振興機構において、国立妙高青 少年自然の家のボランティアと してその活動が他の模範として 高く評価され表彰された。

○平成29年度課外活動団体リーダーズ・トレーニング研修

講演や意見交換等の活動を通して、課外活動団体のリーダーとしての任務を深く認識させるとともにその資質の向上を図ること、また、課外活動団体相互の理解を深め、充実した課外活動の運営と発展に寄与するリーダーの育成を目指すことを目的として実施した。

期 日 : 平成30年3月7日(水)・8日(木)(1泊2日)

場 所 : 講義棟201教室, 国立妙高青少年自然の家

参加人員 : 学 生 72人 団体 37

教職員 8人



○平成30年度新入生オリエンテーション

新入生が、学生生活を送る上で知っておく必要がある教育課程、履修方法及び学生指導等に係る基本的知識を修得することを目的として実施した。

期 日 : 平成30年4月6日(金), 7日(土)

場 所 : 講堂, 講義棟301教室ほか

内 容 : <学部>

大学教育, 教育課程と履修方法, クラス担当教員による指導ほか

<大学院>

大学院の教育・研究, 教育課程と履修方法, 研究倫理, 個別指導,
就職指導ほか

<全体>

海外教育(特別)(実践)研究及び海外派遣制度, 学生指導, 保健管理センターほか

○情報セキュリティ講演会

新入生を対象として、大学における教育・研究等の学生生活において、コンピュータのウイルス感染や不正侵入、個人情報流出などの対策等、安全にコンピュータを利用するために必要不可欠である「情報セキュリティ対策」に関して、次のとおり講演会を実施した。

期 日 : 平成30年4月7日(土)

場 所 : 講堂

講 師 : 情報メディア教育支援センター 教授 井上 久祥
参加人員 : 学部新入生167人, 大学院新入生222人

○新入生ノートパソコン準備講習会

新入生が各自の所有するノートパソコンを, 学内において活用できるようサポートするため, 次のとおり講習会を実施した。

期 日 : 平成30年 4月11日(水), 13日(金), 18日(水)
場 所 : 教育情報訓練室 2
講習内容 : 1) 学内ネットワーク接続の方法
2) ポータルサイト, Webメール, 印刷ステーションの利用方法
3) アンチウィルスソフトの導入方法 等
参加人員 : 学部新入生167人, 大学院新入生51人

○平成30年度新入生合宿研修

入学後間もない時期に集団活動(生活)を通じて, 新入学生相互並びに教職員との親和を図り, お互いの理解を深め, その後の学業上・生活上の安定・充実を図ることを目的として実施した。

期 日 : 平成30年 4月20日(金)・21日(土)
場 所 : 国立妙高青少年自然の家
参加人員 : 1年次学生 167人
教職員 30人



人事

○新役員紹介

役 職	氏 名	任 期	経 歴
理 事	なかや よしひろ 中 舎 喜 博	平成 3 0 年 4 月 1 日 ～ 平成 3 2 年 3 月 3 1 日	昭和 5 3 年 4 月 愛知教育大学 昭和 6 1 年 5 月 文部省 平成 9 年 9 月 香川大学庶務部庶務課長 平成 1 1 年 1 0 月 東京商船大学庶務課長 平成 1 4 年 1 月 文部科学省生涯学習政策局調査企画課課長補佐 平成 2 0 年 1 月 国立大学法人岐阜大学総務部長 平成 2 2 年 8 月 独立行政法人国立青少年教育振興機構国立立山青少年自然の家所長 平成 2 8 年 4 月 香川大学副学長 平成 3 0 年 4 月 国立大学法人上越教育大学理事兼事務局長

○人事異動（役員及び常勤職員）

発令年月日	発令事項等	異 動 事 項	氏 名	現 ・ 旧 職
	役 員			
H30. 3. 30	退 職	文部科学省	小 杉 信 行	理事兼事務局長
H30. 4. 1	任 命	理事	中 舎 喜 博	香川大学副学長
	部局長等			
H30. 3. 31	任期満了		栗 田 修 行	経営協議会委員
H30. 4. 1	兼 務	事務局長	中 舎 喜 博	理事
	任 命	経営協議会委員	中 舎 喜 博	理事
	任 命	経営協議会委員	伊 藤 利 彦	ふるさと上越ネットワーク副会長
	任 命	経営協議会委員	大 野 雅 人	新潟県小学校長会会長・上越市立大手町小学校長
	任 命	経営協議会委員	小 原 芳 明	学校法人玉川学園理事長・玉川大学学長・玉川学園学園長
	任 命	経営協議会委員	佐々木 正 峰	独立行政法人国立科学博物館顧問
	任 命	経営協議会委員	高 橋 信 雄	上越商工会議所会頭
	任 命	経営協議会委員	長谷川 彰	公益財団法人新潟県文化振興財団理事長
	任 命	経営協議会委員	村 山 秀 幸	上越市長
	任 命	教育研究評議会評議員	中 舎 喜 博	理事
	大学教員			
H30. 3. 31	定年退職		近 藤 誠	教授（学校教育学系）
	定年退職		北 條 礼 子	教授（人文・社会教育学系）
	定年退職		小 林 辰 至	教授（自然・生活教育学系）
	定年退職		佐 藤 悦 子	教授（自然・生活教育学系）
	定年退職		後 藤 丹	教授（芸術・体育教育学系）
	定年退職		市 川 真 澄	教授（芸術・体育教育学系）
	退 職	富山国際大学子ども育成学部教授	瀬 戸 健	教授（学校教育学系）
	退 職		高津戸 秀	教授（自然・生活教育学系）
	退 職	京都女子大学発達教育学部教授	大 橋 奈希左	教授（芸術・体育教育学系）
	退 職	大阪市立大学文学研究院・大学院文学研究科・文学部准教授	辻 野 けんま	准教授（学校教育学系）
	任期満了		松 田 慎 也	特任教授（人文・社会教育学系）
	任期満了		佐 藤 賢 治	特任教授（学校教育実践研究センター）
H30. 4. 1	昇 任	教授（学校教育学系）	高 橋 知 己	准教授（学校教育学系）

発令年月日	発令事項等	異 動 事 項	氏 名	現 ・ 旧 職
	昇 任	教授（人文・社会教育学系）	野 地 美 幸	准教授（人文・社会教育学系）
	昇 任	教授（人文・社会教育学系）	小 島 伸 之	准教授（人文・社会教育学系）
	昇 任	准教授（臨床・健康教育学系）	池 田 吉 史	助教（臨床・健康教育学系）
	任用更新	特任教授	佐 藤 芳 徳	特任教授
	採 用	教授（自然・生活教育学系）	古 屋 光 一	北海道教育大学教育学部教授（旭川校）
	採 用	准教授（学校教育学系）	大 島 崇 行	新潟県新潟市立東青山小学校教諭
	採 用	准教授（学校教育学系）	榑 原 範 久	愛知県知多市立八幡中学校教諭
	採 用	講師（学校教育学系）	蜂須賀 洋 一	鹿児島県伊仙町立犬田布小学校教諭
	採 用	講師（臨床・健康教育学系）	飯 塚 有 紀	仙台青葉学院短期大学こども学科准教授
	採 用	講師（自然・生活教育学系）	山 田 貴 之	岐阜県関市立桜ヶ丘中学校教諭
	採 用	助教（人文・社会教育学系）	塚 田 穂 高	フェリス学院大学文学部非常勤講師他
	採 用	助教（自然・生活教育学系）	岡 島 佑 介	京都大学大学院情報学研究科特定研究員
	採 用	特任教授（人文・社会教育学系）	下 西 善三郎	
	採 用	特任教授（人文・社会教育学系）	北 條 礼 子	教授（人文・社会教育学系）
	採 用	特任教授（自然・生活教育学系）	佐 藤 悦 子	教授（自然・生活教育学系）
	採 用	特任教授（学校教育実践研究センター）	神 村 大 輔	上越市立大町小学校校長
	採 用	特任教授（学校教育実践研究センター）	森 一 夫	上越市立柿崎中学校校長
	採 用	特任教授（上廣道徳教育アカデミー）	小 宮 健	千葉県習志野市立大久保東小学校校長
	兼 務	教授	梅 野 正 信	理事
	兼 務	教授	大 庭 重 治	理事
	兼 務	教授「教科・領域教育専攻生活・健康系教育実践コース」	直 原 幹	副学長
	兼 務	教授「学校教育専攻道徳・生徒指導コース」	林 泰 成	副学長
	兼 務	教授「教科・領域教育専攻言語系教育実践コース」	小 埜 裕 二	副学長
	兼 務	准教授（学校教育実践研究センター）	阿 部 隆 幸	准教授（学校教育学系）
	兼 務	講師（心理教育相談室）	飯 塚 有 紀	講師（臨床・健康教育学系）
	兼 務	特任教授（国際交流推進センター）	佐 藤 芳 徳	特任教授
	兼 務	特任教授（国際交流推進センター）	北 條 礼 子	特任教授（人文・社会教育学系）
	附属学校教員			
H30.3.31	退 職	上越市立高志小学校校長	平 間 えり子	附属幼稚園副園長
	退 職	上越市立大町小学校教諭	亀 山 亨	附属幼稚園教諭
	退 職	上越市立大町小学校校長	中 島 秀 晴	附属小学校副校長
	退 職	見附市立葛巻小学校教頭	木 村 貴 之	附属小学校主幹教諭
	退 職	柏崎市立比角小学校教諭	伊 東 良 枝	附属小学校教諭
	退 職	長岡市立日越小学校教諭	川 口 淳	附属小学校教諭
	退 職	上越市立大手町小学校教諭	黒 岩 昭 伸	附属小学校教諭
	退 職	上越市立保倉小学校教諭	松 田 宣 広	附属小学校教諭

発令年月日	発令事項等	異 動 事 項	氏 名	現 ・ 旧 職
H30. 4. 1	退 職	上越市立柿崎中学校校長	長谷川 泰 山	附属中学校副校長
	退 職	燕市立分水中学校教頭	小 池 克 行	附属中学校主幹教諭
	退 職	上越市立城東中学校教諭	鴨 井 淳 一	附属中学校指導教諭
	退 職	長岡市立大島中学校教諭	岩 澤 正 顕	附属中学校教諭
	退 職	上越市立城北中学校教諭	渡 邊 孝 弘	附属中学校教諭
	退 職	糸魚川市立青海中学校教諭	佐 藤 直 己	附属中学校教諭
	昇 任	附属小学校主幹教諭	石 口 昇	附属小学校指導教諭
	昇 任	附属中学校主幹教諭	小 出 信 也	附属中学校教諭
	配 置 換	附属小学校指導教諭	長 野 哲 也	附属小学校教諭
	配 置 換	附属中学校指導教諭	上 坂 知 大	附属中学校教諭
	採 用	附属幼稚園副園長	泉 真 理	上越市立高士小学校校長
	採 用	附属幼稚園教諭	黒 田 隆 夫	上越市立大手町小学校教諭
	採 用	附属小学校副校長	松 岡 博 志	上越市立保倉小学校校長
	採 用	附属小学校教諭	渡 辺 奈穂子	上越市立大町小学校教諭
	採 用	附属小学校教諭	大 岩 恭 子	上越市立保倉小学校教諭
	採 用	附属小学校教諭	笠 井 将 人	上越市立大手町小学校教諭
	採 用	附属小学校教諭	平 井 恵 理	上越市立春日新田小学校教諭
	採 用	附属小学校教諭	高 山 史	長岡市立神田小学校教諭
	採 用	附属中学校副校長	鈴 木 克 典	糸魚川市立木浦小学校校長
	採 用	附属中学校教諭	南 幸 江	上越市立浦川原中学校教諭
	採 用	附属中学校教諭	渡 辺 元 子	長岡市立寺泊中学校教諭
	採 用	附属中学校教諭	入 村 文 子	妙高市立新井小学校教諭
	採 用	附属中学校教諭	金 子 秀 史	上越市立清里中学校教諭
	採 用	附属中学校教諭	佐 藤 勝 久	糸魚川市立糸魚川中学校教諭
H30. 3. 31	事務系職員			
	定年退職		亀 井 宣 幸	広報課長兼参事役
	定年退職		高 倉 則 男	施設課施設チーム主査（主に設備担当）
	定年退職		飯 塚 章次郎	教育支援課学校連携チーム主査（主に免許状更新講習担当）
	退 職	琉球大学図書館情報サービス課長	佐 藤 秀	学術情報課長
H30. 4. 1	退 職		青 山 博 之	教育支援課教務支援チーム主査（主に教務支援担当）
	配 置 換	財務課長	岡 崎 明 弘	学生支援課長
	配 置 換	学生支援課長	佐 藤 裕 子	入試課長
	配 置 換	入試課長	高 島 純 一	財務課長
	採 用	学術情報課長	杉 田 茂 樹	東京大学図書館情報サービス課長
	昇 任	経営企画課企画広報室長	瀧 本 一 幸	総務課副課長（総務担当）

発令年月日	発令事項等	異 動 事 項	氏 名	現 ・ 旧 職
	昇 任	教育支援課学校実習推進室長	牧 由美子	研究連携課副課長
	配 置 換	総務課副課長（総務担当）	伊 藤 孝 之	学生支援課副課長（就職支援担当）
	配 置 換	総務課副課長（人事・労務担当）	水 野 栄 二	経営企画課副課長
	兼 務	総務課副課長（人事・労務担当） 総務課人事・労務チーム主査（主に職員・福祉担当）	水 野 栄 二	総務課副課長（人事・労務担当）
	配 置 換	経営企画課副課長	藍 木 順 二	広報課副課長
	担 当 免	教育支援課副課長	桐 山 敦 史	教育支援課副課長（教務支援担当）
	兼務解除	教育支援課副課長（学校連携担当）	小日向 幸 江	教育支援課副課長（学校連携担当） 教育支援課学校連携チーム主査（主に教育実習担当）
	配 置 換	研究連携課副課長	小日向 幸 江	教育支援課副課長（学校連携担当）
	配 置 換	学生支援課副課長（就職支援担当）	中 村 真 吾	総務課副課長（人事・労務担当）
	担当命免	経営企画課経営企画チーム主査（主に改革担当）	大 貫 健 治	経営企画課経営企画チーム主査（主に改革・評価担当）
	配 置 換	経営企画課経営企画チーム主査（主に評価担当）	松 木 光 永	総務課人事・労務チーム主査（主に職員・福祉担当）
	配 置 換	経営企画課企画広報室主査（主に広報企画担当）	岡 村 和 彦	広報課広報チーム主査（主に広報企画担当）
	配 置 換	経営企画課企画広報室主査（主に広報推進担当）	渡 邊 真紀子	広報課広報チーム主査（主に広報推進担当）
	配 置 換	財務課財務チーム主査（主に予算担当）	竹 内 真 一	経営企画課経営企画チーム主査（主に経営担当）
	配 置 換	教育支援課教務支援チーム主査（主に教務推進担当）	松 崎 富 江	財務課財務チーム主査（主に予算管理担当）
	担当命免	教育支援課教務支援チーム主査（主に教務支援担当）	齊 藤 昭 文	教育支援課教務支援チーム主査（主に教務改革担当）
	配 置 換	教育支援課学校実習推進室主査（主に教育実習担当）	浅 岡 芳 郎	教育支援課教務支援チーム主査（主に教務推進担当）
	復 帰	教育支援課学校実習推進室主査（主に学校実習担当）	高 波 聡 美	国立妙高青少年自然の家総務係長
	配 置 換	学生支援課学生支援チーム主査（主に学生宿舎担当）	馬 場 光 雄	研究連携課研究連携チーム主査（主に産学官連携担当）
	昇 任	教育支援課教務支援チーム主任	風 間 健 一	入試課入試チーム
	配 置 換	学生支援課学生支援チーム主任	藤 田 健 仁	学術情報課学術情報チーム主任
	昇 任	学術情報課学術情報チーム主任	平 田 三 麗	学術情報課学術情報チーム
	昇 任	学術情報課学術情報チーム主任	倉 内 孝 行	学術情報課学術情報チーム
	配 置 換	総務課総務チーム	柳 田 龍一郎	研究連携課研究連携チーム
	採 用	総務課人事・労務チーム	本 間 茉栄美	総務課人事・労務チーム（臨時職員）
	配 置 換	附属学校課附属学校チーム	黒 川 将 一	総務課総務チーム
	配 置 換	財務課財務チーム	北 村 健 一	経営企画課経営企画チーム
	任用更新 (配 置 換)	財務課財務チーム（臨時職員）	笠 原 素 良	教育支援課学校連携チーム（臨時職員）
	配 置 換	教育支援課学校実習推進室	池 田 由美恵	財務課財務チーム
	配 置 換	教育支援課学校実習推進室	村 山 直 也	教育支援課学校連携チーム
	復 帰	研究連携課研究連携チーム	小 林 大 亮	日本学術振興会国際事業部研究協力第二課
	採 用	研究連携課研究連携チーム（臨時職員）	渡 部 智 美	
	採 用	入試課入試チーム	桑 野 弘 英	
	任用更新	監査室（短時間再雇用職員：事務・技術職）	後 藤 公 夫	監査室（短時間再雇用職員：事務・技術職）
	任用更新	附属学校課附属学校チーム（短時間再雇用職員：事務・技術職）	瀧 澤 政 之	附属学校課附属学校チーム（短時間再雇用職員：事務・技術職）
	任用更新	附属学校課附属学校チーム（短時間再雇用職員：事務・技術職）	中 島 忍	附属学校課附属学校チーム（短時間再雇用職員：事務・技術職）

発令年月日	発令事項等	異 動 事 項	氏 名	現 ・ 旧 職
H30. 4. 10	任用更新	施設課施設チーム（短時間再雇用職員：技能・労務職）	野 崎 薫	施設課施設チーム（短時間再雇用職員：技能・労務職）
	再 雇 用	施設課施設チーム（短時間再雇用職員：事務・技術職）	高 倉 則 男	施設課施設チーム主査（主に設備担当）
	任用更新	学生支援課学生支援チーム（短時間再雇用職員：事務・技術職）	草 間 忠 明	学生支援課学生支援チーム（短時間再雇用職員：事務・技術職）
	在籍出向	国立妙高青少年自然の家	志 賀 和 孝	学生支援課学生支援チーム主査（主に学生宿舎担当）
	在籍出向	大学入試センター	佐 野 雄 一	文部科学省行政実務研修生（総務課人事・労務チーム）
	研修出向	文部科学省行政実務研修生（総務課人事・労務チーム）	小宮山 翔 平	学生支援課学生支援チーム
	配 置 換	経営企画課企画広報室	後 藤 公 夫	監査室

○学内委員会委員等

教育研究評議会に置かれる委員会

大学改革推進委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
梅野 正信	理事	- - -		
大庭 重治	理事	- - -		委員長
中舎 喜博	理事	- - -		
直原 幹	副学長	- - -		
林 泰成	副学長	- - -		
小埜 裕二	副学長	- - -		
加藤 哲文	附属図書館長	- - -		
中山勘次郎	学校教育学系長	- - -		
河合 康	臨床・健康教育学系長	- - -		
山縣耕太郎	人文・社会教育学系長	- - -		
中川 仁	自然・生活教育学系長	- - -		
平野 俊介	芸術・体育教育学系長	- - -		
越 良子	学校教育専攻長	- - -		
阿部 靖子	教科・領域教育専攻長	- - -		
廣瀬 裕一	教育実践高度化専攻長	- - -		
水落 芳明	学長指名	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
石野 正彦	学長指名	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
小島 伸之	学長指名	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
鈴木 秀樹	学長指名	事務局次長	29. 4. 1～31. 3. 31	

以上 19 名

教育研究評議会に置かれる委員会

大学教員人材評価委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
大庭 重治	理事	---		委員長
小埜 裕二	副学長	---		
中山勘次郎	学校教育学系長	---		
河合 康	臨床・健康教育学系長	---		
山縣耕太郎	人文・社会教育学系長	---		
中川 仁	自然・生活教育学系長	---		
平野 俊介	芸術・体育教育学系長	---		
越 良子	学校教育専攻長	---		
阿部 靖子	教科・領域教育専攻長	---		
廣瀬 裕一	教育実践高度化専攻長	---		

以上10名

教育研究評議会に置かれる委員会

学術研究委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
小埜 裕二	副学長	---		委員長
加藤 哲文	附属図書館長	---		
石野 正彦	学校教育実践研究センター長	---		
天野 和孝	情報メディア教育支援センター長	---		
中山勘次郎	学校教育学系長	---		
河合 康	臨床・健康教育学系長	---		
山縣耕太郎	人文・社会教育学系長	---		
中川 仁	自然・生活教育学系長	---		
平野 俊介	芸術・体育教育学系長	---		
五百川 裕	グローバル・ICT・学習研究コース長	---		
稲垣 応顕	道徳・生徒指導コース長	---		
安藤 知子	教育連携コース長	---		
加藤 哲文	臨床心理学コース長	---		
杉浦 英樹	幼年教育コース長	---		
笠原 芳隆	特別支援教育コース長	---		
押木 秀樹	言語系教育実践コース長	---		
志村 喬	社会系教育実践コース長	---		
濤崎 智佳	自然系教育実践コース長	---		
阿部 靖子	芸術系教育実践コース長	---		
土田 了輔	生活・健康系教育実践コース長	---		
西川 純	教育臨床コース長 教育経営コース長	---		

以上21名

教育研究評議会に置かれる委員会

カリキュラム企画運営会議

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
林 泰成	副学長	---		議長
(林 泰成)	教務委員会委員長	---		
土田 了輔	教育実習委員会委員長	教授		
(林 泰成)	ファカルティ・ディベロップメント 委員会委員長	---		
松本 健義	学校教育専攻 グローバル・ICT・学習研究コース	教授	29.4.1～31.3.31	
(林 泰成)	学校教育専攻 道徳・生徒指導コース	教授	29.4.1～31.3.31	
内藤 美加	学校教育専攻 教育連携コース	教授	29.4.1～31.3.31	
五十嵐透子	学校教育専攻 臨床心理学コース	教授	29.4.1～31.3.31	
杉浦 英樹	学校教育専攻 幼年教育コース	教授	29.4.1～31.3.31	
藤井 和子	学校教育専攻 特別支援教育コース	准教授	29.4.1～31.3.31	
鯨井 綾希	教科・領域教育専攻 言語系教育実践コース	講師	30.4.1～31.3.31	
松崎 邦守	教科・領域教育専攻 言語系教育実践コース	教授	30.4.1～31.3.31	
浅倉 有子	教科・領域教育専攻 社会系教育実践コース	教授	29.4.1～31.3.31	
松本 健吾	教科・領域教育専攻 自然系教育実践コース	教授	29.4.1～31.3.31	
濤崎 智佳	教科・領域教育専攻 自然系教育実践コース	教授	29.4.1～31.3.31	
阿部亮太郎	教科・領域教育専攻 芸術系教育実践コース	教授	29.4.1～31.3.31	
伊藤 将和	教科・領域教育専攻 芸術系教育実践コース	准教授	29.4.1～31.3.31	
周東 和好	教科・領域教育専攻 生活・健康系教育実践コース	教授	29.4.1～31.3.31	
東原 貴志	教科・領域教育専攻 生活・健康系教育実践コース	准教授	29.4.1～31.3.31	
吉澤 千夏	教科・領域教育専攻 生活・健康系教育実践コース	准教授	29.4.1～31.3.31	
留目 宏美	教科・領域教育専攻 生活・健康系教育実践コース	准教授	29.4.1～31.3.31	
早川 裕隆	教育実践高度化専攻	教授	29.4.1～31.3.31	
石野 正彦	学校教育実践研究センター長	教授		
釜田 聡	国際交流推進センター長	教授		
細谷 敏明	教育支援課長	---		
牧 由美子	教育支援課学校実習推進室長	---		

以上23名

教育研究評議会に置かれる委員会

大学教員学校現場研修委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
林 泰成	副学長	- - -		委員長
石野 正彦	教授	- - -	29. 4. 1～31. 3. 31	
岩崎 浩	教授	- - -	29. 4. 1～31. 3. 31	
杉浦 英樹	教授	- - -	29. 4. 1～31. 3. 31	
土田 了輔	教授	- - -	29. 4. 1～31. 3. 31	
松沢 要一	教授	- - -	29. 4. 1～31. 3. 31	
清水 雅之	准教授	- - -	29. 4. 1～31. 3. 31	
長谷川敬子	特任教授	- - -	29. 4. 1～31. 3. 31	
森 一夫	特任教授	- - -	30. 4. 1～32. 3. 31	
泉 真理	附属幼稚園副園長	- - -		
松岡 博志	附属小学校副校長	- - -		
鈴木 克典	附属中学校副校長	- - -		

以上 1 2 名

法人に置かれる委員会

ハラスメント等人権侵害対策委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
大庭 重治	理事	---		委員長
中山勘次郎	学校教育学系長	---		
河合 康	臨床・健康教育学系長	---		
山縣耕太郎	人文・社会教育学系長	---		
中川 仁	自然・生活教育学系長	---		
平野 俊介	芸術・体育教育学系長	---		
上野 光博	保健管理センター所長	---		
岩崎 浩	附属小学校長	---	29. 4. 1～31. 3. 31	
中舎 喜博	事務局長	---		
阿部 靖子	学長指名	教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
越 良子	学長指名	教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
宮下 敏恵	学長指名	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	

以上 12 名

法人に置かれる委員会

大学評価委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
小 埜 裕二	副学長	---		委員長
石 野 正彦	学校教育実践研究センター長	---		
片 桐 史裕	学校教育学系	准教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
池 田 吉史	臨床・健康教育学系	准教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
茨 木 智志	人文・社会教育学系	教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
斎 藤 敏夫	自然・生活教育学系	准教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
松 尾 大介	芸術・体育教育学系	准教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
小 林 優子	学校教育専攻	准教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
大 場 浩正	教科・領域教育専攻	教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
菅 原 至	教育実践高度化専攻	教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
岩 崎 浩	附属小学校長	---	29. 4. 1～31. 3. 31	
中 舎 喜博	事務局長	---		
光永伸一郎	学長指名	教授	30. 4. 1～32. 3. 31	

以上 13 名

法人に置かれる委員会

情報・広報委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
梅野 正信	副学長	— — —		委員長
蜂須賀洋一	学校教育学系	講師	30.4.1～32.3.31	
飯塚 有紀	臨床・健康教育学系	講師	30.4.1～32.3.31	
中平 一義	人文・社会教育学系	准教授	30.4.1～32.3.31	
小高さほみ	自然・生活教育学系	教授	30.4.1～32.3.31	
兪 期天	芸術・体育教育学系	助教	30.4.1～32.3.31	
渡辺 径子	学校教育実践研究センター	准教授	29.4.1～31.3.31	
井上 久祥	情報メディア教育支援センター	教授	30.4.1～32.3.31	
鈴木 克典	附属中学校副校長	— — —	29.4.1～31.3.31	
阿部 靖子	学長指名	教授	30.4.1～32.3.31	
中川 仁	学長指名	教授	30.4.1～32.3.31	
廣瀬 裕一	学長指名	教授	30.4.1～32.3.31	

以上 12 名

法人に置かれる委員会

施設安全・環境委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
大庭 重治	副学長	---		委員長
石川 真	学校教育学系	准教授	30.4.1～32.3.31	
阿部 隆幸	学校教育学系	准教授	30.4.1～32.3.31	
八島 猛	臨床・健康教育学系	准教授	30.4.1～32.3.31	
田中 圭介	臨床・健康教育学系	講師	30.4.1～32.3.31	
塚田 穂高	人文・社会教育学系	助教	30.4.1～32.3.31	
Brown, Ivan Bernard	人文・社会教育学系	准教授	30.4.1～32.3.31	
林田 秀一	自然・生活教育学系	准教授	30.4.1～32.3.31	
吉澤 千夏	自然・生活教育学系	准教授	30.4.1～32.3.31	
平野 俊介	芸術・体育教育学系	教授	30.4.1～32.3.31	
竹野 欽昭	芸術・体育教育学系	准教授	30.4.1～32.3.31	
杉浦 英樹	附属幼稚園長	---	29.4.1～31.3.31	
高野 晃宏	施設課長	---		
中舎 喜博	学長指名	理事	30.4.1～32.3.31	

以上14名

法人に置かれる委員会

男女共同参画推進委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
大庭 重治	理事	---		委員長
中山勘次郎	学校教育学系長	---	29. 4. 1～31. 3. 31	
阿部 靖子	教科・領域教育専攻長	---	29. 4. 1～31. 3. 31	
木村 吉彦	教授	---	29. 4. 1～31. 3. 31	
野地 美幸	教授	---	30. 4. 1～32. 3. 31	
泉 真理	附属幼稚園副園長	---	30. 4. 1～32. 3. 31	
松岡 博志	附属小学校副校長	---	30. 4. 1～32. 3. 31	
池田 謙哉	事務系職員	---	30. 4. 1～32. 3. 31	
田上 弘美	事務系職員	---	30. 4. 1～32. 3. 31	
東條 俊明	総務課長	---		
吉澤 千夏	学長指名	准教授	30. 4. 1～32. 3. 31	

以上 11 名

法人に置かれる委員会

研究倫理審査委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
小 埜 裕二	副学長	－ － －		委員長
笠原 芳隆	人文・社会科学分野	教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
橋本 暁子	人文・社会科学分野	准教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
光永伸一郎	自然科学分野	教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
池川 茂樹	自然科学分野	准教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
上野 光博	保健管理センター	教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
長谷川伸樹	学外学識経験者	－ － －	30. 4. 1～32. 3. 31	
藤田 尚	学外学識経験者	－ － －	30. 4. 1～32. 3. 31	
渡辺 弘之	学外学識経験者	－ － －	30. 4. 1～32. 3. 31	
増井 晃	学長指名	教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
宮下 敏恵	学長指名	教授	30. 4. 1～32. 3. 31	

以上 11 名

教授会に置かれる委員会

配分予算検討委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
大庭 重治	副学長	---		委員長
石野 正彦	学校教育実践研究センター長	---		
五百川 裕	グローバル・ICT・学習研究コース長	---		
稲垣 応顕	道徳・生徒指導コース長	---		
安藤 知子	教育連携コース長	---		
加藤 哲文	臨床心理学コース長	---		
杉浦 英樹	幼年教育コース長	---		
笠原 芳隆	特別支援教育コース長	---		
押木 秀樹	言語系教育実践コース長	---		
志村 喬	社会系教育実践コース長	---		
濤崎 智佳	自然系教育実践コース長	---		
阿部 靖子	芸術系教育実践コース長	---		
土田 了輔	生活・健康系教育実践コース長	---		
西川 純	教育臨床コース長 教育経営コース長	---		
岡崎 明弘	財務課長	---		

以上15名

教授会に置かれる委員会

教務委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
林 泰成	副学長	- - -		委員長
高野 浩志	学校教育専攻 グローバル・ICT・学習研究コース	准教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
高橋 知己	学校教育専攻 道徳・生徒指導コース	教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
奥村 太一	学校教育専攻 教育連携コース	准教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
五十嵐透子	学校教育専攻 臨床心理学コース	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
杉浦 英樹	学校教育専攻 幼年教育コース	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
村中 智彦	学校教育専攻 特別支援教育コース	准教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
迎 勝彦	教科・領域教育専攻 言語系教育実践コース	准教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
松崎 邦守	教科・領域教育専攻 言語系教育実践コース	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
下里 俊行	教科・領域教育専攻 社会系教育実践コース	教授	29. 5. 10～31. 3. 31	
松本 健吾	教科・領域教育専攻 自然系教育実践コース	教授	30. 4. 1～31. 3. 31	
下村 博志	教科・領域教育専攻 自然系教育実践コース	准教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
玉村 恭	教科・領域教育専攻 芸術系教育実践コース	准教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
伊藤 将和	教科・領域教育専攻 芸術系教育実践コース	准教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
池川 茂樹	教科・領域教育専攻 生活・健康系教育実践コース	准教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
光永伸一郎	教科・領域教育専攻 生活・健康系教育実践コース	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
野口 孝則	教科・領域教育専攻 生活・健康系教育実践コース	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
東原 貴志	教科・領域教育専攻 生活・健康系教育実践コース	准教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
堀 健志	教育実践高度化専攻	准教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
中野 博幸	学校教育実践研究センター	教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
細谷 敏明	教育支援課長	- - -		
佐藤 将朗	学長指名	准教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
藤井 和子	学長指名	准教授	30. 4. 1～32. 3. 31	

以上23名

※オブザーバー出席：野村眞木夫大学改革アドバイザー

教授会に置かれる委員会

教育実習委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
角谷 詩織	学校教育専攻 グローバル・ICT・学習研究コース	准教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
大前 敦巳	学校教育専攻 教育連携コース	教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
飯塚 有紀	学校教育専攻 臨床心理学コース	講師	30. 4. 1～32. 3. 31	
白神 敬介	学校教育専攻 幼年教育コース	准教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
池田 吉史	学校教育専攻 特別支援教育コース	准教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
高本 條治	教科・領域教育専攻 言語系教育実践コース	准教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
橋本 暁子	教科・領域教育専攻 社会系教育実践コース	准教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
斎藤 敏夫	教科・領域教育専攻 自然系教育実践コース	准教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
玉村 恭	教科・領域教育専攻 芸術系教育実践コース	准教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
光永伸一郎	教科・領域教育専攻 生活・健康系教育実践コース	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
桐生 徹	教育実践高度化専攻	教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
石野 正彦	学校教育実践研究センター長	— — —		
中野 博幸	学校教育実践研究センター	教授		
清水 雅之	学校教育実践研究センター	准教授		
渡辺 径子	学校教育実践研究センター	准教授		
荒川 圭子	学校教育実践研究センター	特任教授		
神村 大輔	学校教育実践研究センター	特任教授		
長谷川敬子	学校教育実践研究センター	特任教授		
森 一夫	学校教育実践研究センター	特任教授		
小林 和之	学校教育実践研究センター	特任准教授		
酒井 悟	学校教育実践研究センター	特任准教授		
鈴木 善士	学校教育実践研究センター	特任准教授		
田邊 道行	学校教育実践研究センター	特任准教授		
泉 真理	附属幼稚園副園長	— — —		
松岡 博志	附属小学校副校長	— — —		
鈴木 克典	附属中学校副校長	— — —		
牧 由美子	教育支援課学校実習推進室長	— — —		
土田 了輔	学長指名	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	委員長
笠原 芳隆	学長指名	教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
中島 秀晴	学長指名	— — —	30. 4. 18～32. 3. 31	

以上 30 名

※ 学校教育専攻長からの申し出により、上越教育大学における各種委員会の組織の特例に関する規程第2条第1項に規定する特例を適用し、道徳・生徒指導コースから選出の委員を欠員としている。

教授会に置かれる委員会

学生委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
布川 和彦	学校教育専攻 グローバル・ICT・学習研究コース	教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
蜂須賀洋一	学校教育専攻 教育連携コース	講師	30. 4. 1～32. 3. 31	
近藤 孝司	学校教育専攻 臨床心理学コース	准教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
山口 美和	学校教育専攻 幼年教育コース	准教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
池田 吉史	学校教育専攻 特別支援教育コース	准教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
渡部洋一郎	教科・領域教育専攻 言語系教育実践コース	教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
Brown, Ivan Bernard	教科・領域教育専攻 言語系教育実践コース	准教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
小島 伸之	教科・領域教育専攻 社会系教育実践コース	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
林田 秀一	教科・領域教育専攻 自然系教育実践コース	准教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
谷 友和	教科・領域教育専攻 自然系教育実践コース	准教授	30. 4. 1～31. 3. 31	
五十嵐史帆	教科・領域教育専攻 芸術系教育実践コース	准教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
尾崎 祐司	教科・領域教育専攻 芸術系教育実践コース	准教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
増井 晃	教科・領域教育専攻 生活・健康系教育実践コース	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
光永伸一郎	教科・領域教育専攻 生活・健康系教育実践コース	教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
竹野 欽昭	教科・領域教育専攻 生活・健康系教育実践コース	准教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
岡島 佑介	教科・領域教育専攻 生活・健康系教育実践コース	助教	30. 4. 1～32. 3. 31	
菅原 至	教育実践高度化専攻	教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
上野 光博	保健管理センター所長	- - -		
佐藤 裕子	学生支援課長	- - -		
上野 正人	学長指名	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	委員長

以上 20 名

※ 学校教育専攻長からの申し出により、上越教育大学における各種委員会の組織の特例に関する規程第2条第1項に規定する特例を適用し、道徳・生徒指導コースから選出の委員を欠員とし、また、学校教育専攻選出の委員から教授を充てる人数を1人としている。

教授会に置かれる委員会

就職委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
直原 幹	副学長	---		委員長
井上 久祥	学校教育専攻 グローバル・ICT・学習研究コース	教授	30.4.1～31.3.31	
奥村 太一	学校教育専攻 教育連携コース	准教授	30.4.1～32.3.31	
加藤 哲文	学校教育専攻 臨床心理学コース	教授	29.4.1～31.3.31	
山口 美和	学校教育専攻 幼年教育コース	准教授	30.4.1～31.3.31	
佐藤 将朗	学校教育専攻 特別支援教育コース	准教授	30.4.1～32.3.31	
大場 浩正	教科・領域教育専攻 言語系教育実践コース	教授	30.4.1～31.3.31	
押木 秀樹	教科・領域教育専攻 言語系教育実践コース	教授	30.4.1～32.3.31	
吉田 昌幸	教科・領域教育専攻 社会系教育実践コース	准教授	29.4.1～31.3.31	
中川 仁	教科・領域教育専攻 自然系教育実践コース	教授	30.4.1～31.3.31	
谷 友和	教科・領域教育専攻 自然系教育実践コース	准教授	30.4.1～31.3.31	
上野 正人	教科・領域教育専攻 芸術系教育実践コース	教授	30.4.1～32.3.31	
安部 泰	教科・領域教育専攻 芸術系教育実践コース	准教授	30.4.1～32.3.31	
小高さほみ	教科・領域教育専攻 生活・健康系教育実践コース	教授	29.4.1～31.3.31	
増井 晃	教科・領域教育専攻 生活・健康系教育実践コース	教授	29.4.1～31.3.31	
山崎 貞登	教科・領域教育専攻 生活・健康系教育実践コース	教授	30.4.1～31.3.31	
榊原 潔	教科・領域教育専攻 生活・健康系教育実践コース	准教授	30.4.1～32.3.31	
桐生 徹	教育実践高度化専攻	教授	30.4.1～32.3.31	
清水 雅之	学校教育実践研究センター	准教授	30.4.1～32.3.31	
佐藤 裕子	学生支援課長	---		
中村 真吾	プレイスメントプラザ次長	---		

以上21名

※ 学校教育専攻長からの申し出により、上越教育大学における各種委員会の組織の特例に関する規程第2条第1項に規定する特例を適用し、道徳・生徒指導コースから選出の委員を欠員としている。

教授会に置かれる委員会

入学試験委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
直原 幹	副学長	- - -		委員長
釜田 聡	学校教育専攻 グローバル・ICT・学習研究コース	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
山田 智之	学校教育専攻 道徳・生徒指導コース	准教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
内藤 美加	学校教育専攻 教育連携コース	教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
田中 圭介	学校教育専攻 臨床心理学コース	講師	29. 4. 1～31. 3. 31	
山口 美和	学校教育専攻 幼年教育コース	准教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
八島 猛	学校教育専攻 特別支援教育コース	准教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
高本 條治	教科・領域教育専攻 言語系教育実践コース	准教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
長谷川佑介	教科・領域教育専攻 言語系教育実践コース	講師	29. 4. 1～31. 3. 31	
畔上 直樹	教科・領域教育専攻 社会系教育実践コース	教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
中川 仁	教科・領域教育専攻 自然系教育実践コース	教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
小川 佳宏	教科・領域教育専攻 自然系教育実践コース	准教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
洞谷 亜里佐	教科・領域教育専攻 芸術系教育実践コース	教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
長谷川正規	教科・領域教育専攻 芸術系教育実践コース	准教授	30. 4. 1～31. 3. 31	
黎 子椰	教科・領域教育専攻 生活・健康系教育実践コース	教授	30. 4. 1～31. 3. 31	
留目 宏美	教科・領域教育専攻 生活・健康系教育実践コース	准教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
松浦 亮太	教科・領域教育専攻 生活・健康系教育実践コース	准教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
吉澤 千夏	教科・領域教育専攻 生活・健康系教育実践コース	准教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
松井千鶴子	教育実践高度化専攻	教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
林 泰成	教務委員会委員長	- - -		
(釜田 聡)	国際交流推進センター長	- - -		
高島 純一	入試課長	- - -		
大場 浩正	学長指名	教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
高橋 等	学長指名	教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
中山勘次郎	学長指名	教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
藤谷 元子	学長指名	准教授	30. 4. 1～32. 3. 31	

以上 25 名

教授会に置かれる委員会

ファカルティ・ディベロップメント委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
林 泰成	副学長	- - -		委員長
城間 祥子	学校教育専攻 グローバル・ICT・学習研究コース	准教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
山田 智之	学校教育専攻 道徳・生徒指導コース	准教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
近藤 孝司	学校教育専攻 臨床心理学コース	准教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
村中 智彦	学校教育専攻 特別支援教育コース	准教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
渡部洋一郎	教科・領域教育専攻 言語系教育実践コース	教授	30. 4. 1～31. 3. 31	
浅倉 有子	教科・領域教育専攻 社会系教育実践コース	教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
古屋 光一	教科・領域教育専攻 自然系教育実践コース	教授	30. 4. 1～31. 3. 31	
阿部亮太郎	教科・領域教育専攻 芸術系教育実践コース	教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
池川 茂樹	教科・領域教育専攻 生活・健康系教育実践コース	准教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
片桐 史裕	教育実践高度化専攻 教育臨床コース	准教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
大島 崇行	教育実践高度化専攻 教育経営コース	准教授	30. 4. 1～31. 3. 31	

以上 12 名

※ 学校教育専攻長からの申し出により、上越教育大学における各種委員会の組織の特例に関する規程第2条第1項に規定する特例を適用し、教育連携コース及び幼年教育コースから選出の委員を欠員としている。

大学に置かれる委員会

教員免許状更新講習実施委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
林 泰成	副学長	---		委員長
河野麻沙美	学校教育専攻 グローバル・ICT・学習研究コース	准教授	30.4.1～32.3.31	
高橋 知己	学校教育専攻 道徳・生徒指導コース	教授	30.4.1～32.3.31	
宮崎 球一	学校教育専攻 臨床心理学コース	助教	30.4.1～32.3.31	
杉浦 英樹	学校教育専攻 幼年教育コース	教授	29.4.1～31.3.31	
村中 智彦	学校教育専攻 特別支援教育コース	准教授	30.4.1～32.3.31	
鯨井 綾希	教科・領域教育専攻 言語系教育実践コース	講師	30.4.1～32.3.31	
長谷川佑介	教科・領域教育専攻 言語系教育実践コース	講師	30.4.1～32.3.31	
塚田 穂高	教科・領域教育専攻 社会系教育実践コース	助教	30.4.1～32.3.31	
伊達 文治	教科・領域教育専攻 自然系教育実践コース	教授	30.4.1～32.3.31	
古屋 光一	教科・領域教育専攻 自然系教育実践コース	教授	30.4.1～32.3.31	
阿部 靖子	教科・領域教育専攻 芸術系教育実践コース	教授	30.4.1～32.3.31	
時得 紀子	教科・領域教育専攻 芸術系教育実践コース	教授	30.4.1～32.3.31	
上野 光博	教科・領域教育専攻 生活・健康系教育実践コース	教授	30.4.1～32.3.31	
山崎 貞登	教科・領域教育専攻 生活・健康系教育実践コース	教授	30.4.1～32.3.31	
佐藤ゆかり	教科・領域教育専攻 生活・健康系教育実践コース	准教授	30.4.1～32.3.31	
竹野 欽昭	教科・領域教育専攻 生活・健康系教育実践コース	准教授	30.4.1～32.3.31	
片桐 史裕	教育実践高度化専攻	准教授	30.4.1～32.3.31	
牧 由美子	教育支援課学校実習推進室長	---		

以上19名

※ 学校教育専攻長からの申し出により、上越教育大学における各種委員会の組織の特例に関する規程第2条第1項に規定する特例を適用し、教育連携コースから選出の委員を欠員としている。

大学に置かれる委員会

研究活動の不正行為対策委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
小埜 裕二	研究倫理教育責任者（副学長）	---		委員長
加藤 哲文	附属図書館長	---		
石野 正彦	学校教育実践研究センター長	---		
天野 和孝	情報メディア教育支援センター長	---		
(加藤 哲文)	心理教育相談室長	---		
河合 康	特別支援教育実践研究センター長	---		
釜田 聡	国際交流推進センター長	---		
杉浦 英樹	附属幼稚園長	---		
岩崎 浩	附属小学校長	---		
松沢 要一	附属中学校長	---		
中山勘次郎	学校教育学系長	---		
河合 康	臨床・健康教育学系長	---		
山縣耕太郎	人文・社会教育学系長	---		
中川 仁	自然・生活教育学系長	---		
平野 俊介	芸術・体育教育学系長	---		
中舎 喜博	事務局長	---		
長谷川伸樹	学長指名	---	30. 4. 1～31. 3. 31	

以上16名

大学に置かれる委員会

動物実験委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
小埜 裕二	副学長	－ － －	29. 4. 1～31. 3. 31	委員長
直原 幹	副学長	－ － －	29. 4. 1～31. 3. 31	
中村 雅彦	自然・生活教育学系	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
竹野 欽昭	芸術・体育教育学系	准教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
谷 友和	自然・生活教育学系	准教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
上野 光博	保健管理センター	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	

以上 6 名

大学に置かれる委員会

C S T 養成事業実施委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
梅野 正信	理事	- - -		委員長
五百川 裕	学校教育学系	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
石野 正彦	学校教育学系	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
桐生 徹	学校教育学系	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
古屋 光一	自然・生活教育学系	教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
谷 友和	自然・生活教育学系	准教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
山田 貴之	自然・生活教育学系	講師	30. 4. 1～32. 3. 31	
渡辺 径子	学校教育実践研究センター	准教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
松岡 博志	附属小学校	副校長	29. 4. 1～31. 3. 31	
牧井 創	附属中学校	教頭	29. 4. 1～31. 3. 31	
大橋 伸夫	新潟県教育委員会義務教育課長			
興治 文子	国立大学法人新潟大学教育学部准教授			
吉田 隆	新潟市教育委員会教職員課長			
竹内 正浩	長岡市教育委員会学校教育課長			
萩野 喜弘	新発田市教育委員会学校教育課長			
澤田 靖	上越市教育委員会学校教育課長			
吉越 哲也	妙高市教育委員会こども教育課長			
山本 修	糸魚川市教育委員会こども教育課長			
山田 智	柏崎市教育委員会学校教育課長			
中田 亮一	新潟県立教育センター所長			
津野 治彦	新潟市立総合教育センター所長			
高橋 和久	長岡市教育センター所長（新潟県地区理科教育センター連絡協議会会長）			
伊野 亘	国立妙高青少年自然の家所長			
大沢 喜昭	糸魚川市博物館館長			
鈴木 恒夫	上越清里星のふるさと館館長			

以上 25 名

附属施設等に置かれる委員会

附属図書館運営委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
加藤 哲文	附属図書館長	---		委員長
越 良子	学校教育専攻長	---		
阿部 靖子	教科・領域教育専攻長	---		
廣瀬 裕一	教育実践高度化専攻長	---		
杉田 茂樹	学術情報課長	---		
石野 正彦	学長指名	教授	30. 4. 1～32. 3. 31	

以上 6 名

附属施設等に置かれる委員会

学校教育実践研究センター運営委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
石野 正彦	学校教育実践研究センター長	— — —		委員長
中野 博幸	学校教育実践研究センター	教授		
清水 雅之	学校教育実践研究センター	准教授		
渡辺 径子	学校教育実践研究センター	准教授		
土田 了輔	学校教育実践研究センター（兼務）	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
荒川 圭子	学校教育実践研究センター	特任教授		
神村 大輔	学校教育実践研究センター	特任教授		
長谷川敬子	学校教育実践研究センター	特任教授		
森 一夫	学校教育実践研究センター	特任教授		
小林 和之	学校教育実践研究センター	特任准教授		
酒井 悟	学校教育実践研究センター	特任准教授		
鈴木 善士	学校教育実践研究センター	特任准教授		
田邊 道行	学校教育実践研究センター	特任准教授		
安藤 知子	学校教育学系	教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
佐藤 将朗	臨床・健康教育学系	准教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
茨木 智志	人文・社会教育学系	教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
中村 雅彦	自然・生活教育学系	教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
（土田 了輔）	芸術・体育教育学系	教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
松岡 博志	附属小学校副校長	— — —		

以上 18 名

附属施設等に置かれる委員会

保健管理センター運営委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
上野 光博	保健管理センター所長	---		委員長
増井 晃	保健管理センター	教授		
野口 孝則	保健管理センター	教授		
上野 正人	学生委員会委員長	---		
宮崎 球一	学校教育専攻	助教	29. 4. 1～31. 3. 31	
斎藤 敏夫	教科・領域教育専攻	准教授	30. 4. 1～31. 3. 31	
阿部 隆幸	教育実践高度化専攻	准教授	30. 4. 1～32. 3. 31	
五十嵐 透子	学長指名	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	

以上 8 名

附属施設等に置かれる委員会

情報メディア教育支援センター運営委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
天野 和孝	情報メディア教育支援センター長	---		委員長
井上 久祥	情報メディア教育支援センター	教授		
大森 康正	情報メディア教育支援センター	教授		
石川 真	情報メディア教育支援センター	准教授		
高野 浩志	情報メディア教育支援センター	准教授		
田島 弘司	学校教育学系	准教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
増井 晃	臨床・健康教育学系	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
畔上 直樹	人文・社会教育学系	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
濤崎 智佳	自然・生活教育学系	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
長谷川正規	芸術・体育教育学系	准教授	30. 4. 1～31. 3. 31	

以上 10 名

附属施設等に置かれる委員会

心理教育相談室運営委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
加藤 哲文	心理教育相談室長	---		委員長
五十嵐透子	心理教育相談室相談員	教授		
宮下 敏恵	心理教育相談室相談員	教授		
近藤 孝司	心理教育相談室相談員	准教授		
飯塚 有紀	心理教育相談室相談員	講師		
田中 圭介	心理教育相談室相談員	講師		
宮崎 球一	心理教育相談室相談員	助教		
上野 光博	保健管理センター所長	---		
河合 康	特別支援教育実践研究センター	教授	30. 4. 1～32. 3. 31	

以上 9 名

附属施設等に置かれる委員会

特別支援教育実践研究センター運営委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
河合 康	特別支援教育実践研究センター長	---		委員長
笠原 芳隆	特別支援教育実践研究センター	教授		
藤井 和子	特別支援教育実践研究センター	准教授		
村中 智彦	特別支援教育実践研究センター	准教授		
八島 猛	特別支援教育実践研究センター	准教授		
佐藤 将朗	特別支援教育実践研究センター	准教授		
小林 優子	特別支援教育実践研究センター	准教授		
池田 吉史	特別支援教育実践研究センター	准教授		
坂口 嘉菜	特別支援教育実践研究センター	助教		
加藤 哲文	心理教育相談室	教授	30. 4. 1～32. 3. 31	

以上10名

附属施設等に置かれる委員会

国際交流推進センター運営委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
釜田 聡	国際交流推進センター長	---		委員長
藤谷 元子	国際交流推進センター	准教授		
押木 秀樹	国際交流推進センター（兼務）	教授		
大前 敦巳	国際交流推進センター（兼務）	教授		
黎 子椰	国際交流推進センター（兼務）	教授		
北條 礼子	国際交流推進センター（兼務）	特任教授		
佐藤 芳徳	国際交流推進センター（兼務）	特任教授		
田島 弘司	国際交流推進センター（兼務）	准教授		
Brown, Ivan Bernard	国際交流推進センター（兼務）	准教授		
原 瑞穂	国際交流推進センター（兼務）	准教授		
河合 康	学長指名	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
志村 喬	学長指名	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
阿部 靖子	学長指名	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
岩崎 浩	学長指名	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
松沢 要一	学長指名	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	

以上15名

附属施設等に置かれる委員会

附属学校運営委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
林 泰成	副学長	---		委員長
越 良子	学校教育専攻長	---		
阿部 靖子	教科・領域教育専攻長	---		
廣瀬 裕一	教育実践高度化専攻長	---		
杉浦 英樹	附属幼稚園長	---		
岩崎 浩	附属小学校長	---		
松沢 要一	附属中学校長	---		
泉 真理	附属幼稚園副園長	---		
松岡 博志	附属小学校副校長	---		
鈴木 克典	附属中学校副校長	---		
中舎 喜博	事務局長	---		

以上 11 名

運営の基本組織として置かれる委員会

連合大学院運営会議

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	備 考	氏 名	委員会組織における職名又は所属等	職 名	備 考
川崎 直哉	学長	- - -	議長	岩崎 浩	先端課題実践開発連合講座	教授	
梅野 正信	副学長	- - -		木村 吉彦	先端課題実践開発連合講座	教授	
大庭 重治	副学長	- - -		桐生 徹	先端課題実践開発連合講座	教授	
直原 幹	副学長	- - -		西川 純	先端課題実践開発連合講座	教授	
林 泰成	副学長	- - -		早川 裕隆	先端課題実践開発連合講座	教授	
小埜 裕二	副学長	- - -		水落 芳明	先端課題実践開発連合講座	教授	
安藤 知子	学校教育方法連合講座	教授		佐藤多佳子	先端課題実践開発連合講座	准教授	
井上 久祥	学校教育方法連合講座	教授		高橋 知己	先端課題実践開発連合講座	教授	
大前 敦巳	学校教育方法連合講座	教授		大場 浩正	言語系教育連合講座	教授	
釜田 聡	学校教育方法連合講座	教授		押木 秀樹	言語系教育連合講座	教授	
越 良子	学校教育方法連合講座	教授	(副研究科長)	渡部 洋一郎	言語系教育連合講座	教授	
内藤 美加	学校教育方法連合講座	教授		野地 美幸	言語系教育連合講座	教授	
中山勘次郎	学校教育方法連合講座	教授		浅倉 有子	社会系教育連合講座	教授	
奥村 太一	学校教育方法連合講座	准教授		茨木 智志	社会系教育連合講座	教授	
角谷 詩織	学校教育方法連合講座	准教授		志村 喬	社会系教育連合講座	教授	
五十嵐透子	学校教育臨床連合講座	教授		下里 俊行	社会系教育連合講座	教授	
加藤 哲文	学校教育臨床連合講座	教授		山縣耕太郎	社会系教育連合講座	教授	
笠原 芳隆	学校教育臨床連合講座	教授		畔上 直樹	社会系教育連合講座	教授	
河合 康	学校教育臨床連合講座	教授		小島 伸之	社会系教育連合講座	教授	
宮下 敏恵	学校教育臨床連合講座	教授		吉田 昌幸	社会系教育連合講座	准教授	
近藤 孝司	学校教育臨床連合講座	准教授		天野 和孝	自然系教育連合講座	教授	
村中 智彦	学校教育臨床連合講座	准教授		濤崎 智佳	自然系教育連合講座	教授	
小林 優子	学校教育臨床連合講座	准教授		中川 仁	自然系教育連合講座	教授	
池田 吉史	学校教育臨床連合講座	准教授		中村 雅彦	自然系教育連合講座	教授	
田中 圭介	学校教育臨床連合講座	講師		松本 健吾	自然系教育連合講座	教授	

氏 名	委員会組織における職名又は所属等	職 名	備 考
小川 佳宏	自然系教育連合講座	准教授	
斎藤 敏夫	自然系教育連合講座	准教授	
宮川 健	自然系教育連合講座	准教授	
時得 紀子	芸術系教育連合講座	教授	
平野 俊介	芸術系教育連合講座	教授	
松本 健義	芸術系教育連合講座	教授	
伊藤 将和	芸術系教育連合講座	准教授	
尾崎 祐司	芸術系教育連合講座	准教授	
玉村 恭	芸術系教育連合講座	准教授	
松尾 大介	芸術系教育連合講座	准教授	
周東 和好	生活・健康系教育連合講座	教授	
土田 了輔	生活・健康系教育連合講座	教授	
光永伸一郎	生活・健康系教育連合講座	教授	
山崎 貞登	生活・健康系教育連合講座	教授	
黎 子椰	生活・健康系教育連合講座	教授	
東原 貴志	生活・健康系教育連合講座	准教授	
松浦 亮太	生活・健康系教育連合講座	准教授	

以上 6 7 名

企画・実施部門等の構成員名簿

平成30年4月1日現在

	名 称	室長等氏名	室 員 等 氏 名	事務担当	備 考
1	情報戦略室	小 埜 裕 二	大 前 敦 巳 杉 浦 英 樹 中 野 博 幸 松 井 千 鶴 子 小 島 伸 之 志 村 喬 濤 崎 智 佳 光 永 伸 一 郎 城 間 祥 子 谷 友 和 平 野 忠 岡 崎 明 弘 高 野 晃 宏	経営企画課	
2	知的財産本部	小 埜 裕 二	山 縣 耕 太 郎 大 森 康 正 黎 子 椰 岡 崎 明 弘 牧 由 美 子	研究連携課	
3	地域連携推進室	梅 野 正 信	直 原 幹 五 百 川 裕 石 野 正 彦 早 川 裕 隆 水 落 芳 明 山 縣 耕 太 郎 光 永 伸 一 郎 古 閑 晶 子 瀧 本 一 幸 桐 山 敦 史	研究連携課	
4	総合学生支援室	直 原 幹	林 泰 成 上 野 正 人 土 田 了 輔 上 野 光 博 細 谷 敏 明 牧 由 美 子 佐 藤 裕 子 中 村 真 吾	学生支援課	

一般通報事項

○役員会

■第118回役員会

期 日 平成30年 3 月 23 日（金）

議 題

- 1 平成29年度学内補正予算
- 2 目的積立金の執行計画
- 3 平成30年度学内予算
- 4 平成30年度年度計画
- 5 学則の一部改正
- 6 事務組織規則の一部改正
- 7 授業料その他の費用に関する規程の一部改正
- 8 大学改革
- 9 大規模災害発生時における関東・甲信越地区国立大学法人等間の連携

■第119回役員会

期 日 平成30年 4 月 18 日（水）

議 題

なし ※報告事項のみであった。

○経営協議会

■第58回経営協議会

期 日 平成30年 3 月 23 日（金）

議 題

- 1 学長選考会議委員及び同予備委員の選出
- 2 平成29年度学内補正予算
- 3 目的積立金の執行計画
- 4 平成30年度学内予算
- 5 平成30年度年度計画（経営に関する部分）
- 6 平成30年度に係る自己点検・評価実施計画
- 7 学則の一部改正
- 8 事務組織規則等の一部改正
- 9 人事関係規則の一部改正
- 10 授業料その他の費用に関する規程の一部改正

11 大学改革

○教育研究評議会

■第223回教育研究評議会

期 日 平成30年 3 月 7 日（水）

議 題

- 1 教員人事
- 2 平成30年度に係る自己点検・評価実施計画
- 3 学則の一部改正
- 4 事務組織規則等の一部改正
- 5 大学改革

■第224回教育研究評議会

期 日 平成30年 3 月14日（水）

議 題

- 1 教員人事
- 2 大規模災害発生時における関東・甲信越地区国立大学法人等間の連携
- 3 ヴォー州教育大学との交流協定締結

■第225回教育研究評議会

期 日 平成30年 3 月20日（火）

議 題

- 1 平成30年度年度計画（教育研究に関する部分）
- 2 大学改革に伴う大学院担当教員審査
- 3 教員人事
- 4 教育研究評議会及び教授会に置かれる委員会委員の委嘱
- 5 大学教員表彰制度の創設
- 6 特任教員規程の一部改正
- 7 ヴォー州教育大学との交流協定締結に係る覚書等
- 8 教育研究連携・協力協定等に伴う学生支援等

■第226回教育研究評議会

期 日 平成30年 4 月18日（水）

議 題

- 1 平成30年度大学教員人事計画
- 2 教授会に置かれる委員会委員の委嘱
- 3 平成31年度大学改革に伴う各種プログラム等の検討
- 4 平成31年度大学改革に伴う学校実習の検討

○教授会

■第240回教授会

期 日 平成30年 3 月 6 日（火）

議 題

- 1 平成30年度学部一般入試（前期日程）合格者の判定
- 2 平成29年度学部卒業判定
- 3 平成29年度大学院修了判定
- 4 教員人事

■第241回教授会

期 日 平成30年 3 月14日（水）

議 題

- 1 平成30年度大学院入試（後期募集）合格者の判定
- 2 平成30年度教育職員免許取得プログラム受講者の判定
- 3 平成30年度教職大学院教育経営コース1年制プログラム履修者の判定

■第242回教授会

期 日 平成30年 3 月20日（火）

議 題

- 1 平成30年度学部一般入試（後期日程）合格者の判定
- 2 平成30年度学部一般入試（後期日程）追加合格者の決定
- 3 平成30年度学部欠員補充第2次学生募集
- 4 平成30年度大学院入試（第2次募集）合格者の判定
- 5 平成30年度教育職員免許取得プログラム受講者の判定
- 6 大学改革に伴う大学院担当教員審査
- 7 教員人事

■第243回教授会

期 日 平成30年 4 月25日（水）

議 題

- 1 名誉教授の推薦

○平成29年度上越教育大学国際交流のつどい

日頃から本学留学生にご支援いただいている地域の方々と本学教職員等が意見交換を行い、本学の国際交流推進に役立てるとともに相互の親睦を深めることを目的として、平成30年3月6日（火）第1食堂において、平成29年度上越教育大学国際交流のつどいを実施した。

上越市，上越国際交流協会，近郊のロータリークラブ，上越青年会議所など地域の方々からご出席いただき，本学の国際交流の現状及び留学生の現状と支援について説明した後，留学生の代表がこの1年間の活動について発表し，相互に意見交換を行った。また，留学生による「よさこいソーラン」が披露され，学長，副学長や地域の方々も踊りに加わる等，懇談会をとおして地域の方々との親睦を深めた。

なお，今年度実施したJ. TEST実用日本語検定試験において特A級（日本語通訳者上級レベル）の成績を収めた留学生の表彰を併せて行った。



○情報セキュリティ監査の実施

情報メディア教育支援センターでは，国立大学法人上越教育大学情報システム運用規則（平成23年規則第2号）第19条に基づき，次のとおり情報セキュリティ監査を実施した。

実施日時	平成30年3月9日（金）
監査対象	情報セキュリティ管理体制の構築状況 （監査対象期間：平成29年4月1日～平成30年2月28日）
監査内容	情報セキュリティポリシー等の遵守状況の調査
監査内容	情報セキュリティ対策基本計画の進捗状況

○上越教育大学コア・サイエンス・ティーチャー（CST）認定証授与式

平成30年3月15日（木）長岡市教育センターを会場に「平成29年度上越教育大学コア・サイエンス・ティーチャー（CST）認定証授与式」を実施した。

本式典では，CST養成プログラムを受講した新潟県教育委員会派遣の現職教員大学院生6名について，CST養成プログラム修了を認め，CST認定証を授与するとともに，2年間の研修成果の発表を行った。

今後，CST認定者には，新潟県内小・中学校の理科教育における中核的教員としての活躍が期待される。



○平成29年度ハラスメント防止研修

教職員及び学生に対して、ハラスメントに関する理解を深めるための研修を行い、ハラスメントの未然防止と快適なキャンパス環境の向上に資することを目的として、平成30年3月26日（月）講義棟301教室において研修を実施した。

講師 澤田 尚美 氏

（株式会社フォーブレーション）

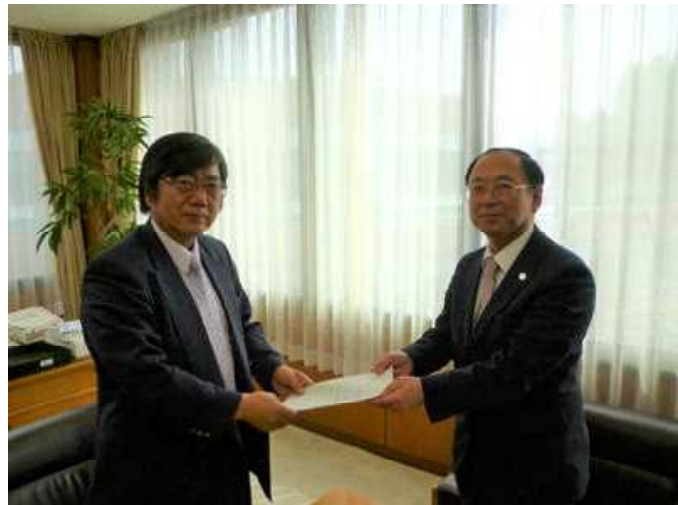
○教育諮問会議答申

平成30年3月29日（木）、教育諮問会議の山西潤一議長から川崎直哉学長あてに答申文が手渡された。これは、平成29年11月6日（月）、同諮問会議に対してなされた、教員養成の拠点大学としての今後の在り方についての諮問を受け、審議を行い、まとめたものである。

答申は、「大学院での教員研修機能の強化と上越教育大学が取り組むべき事項の方向性と課題」及び「地域の拠点大学として上越教育大学が取り組むべき連携の方向性と課題」の観点で取りまとめられたものである。

答申に際し山西議長から、「上越教育大学には、新構想の教員養成系大学として、特色のある取り組みを進めていただきたい。」との激励の言葉をいただいた。これに対し川崎学長から、「大学を取り巻く環境は急速に変化しており、対応が求められています。本答申の内容を参考に、本学が教員養成の拠点大学となるべく、取り組みを進めてまいります。非常に参考となる答申をいただき、感謝します。」と謝辞を述べた。

その後、今後の教員養成系大学の在り方や、育成する人材像等に関して、国の情勢を交えての意見交換を行った。



○平成29年度退職者永年勤続表彰状授与式

平成30年3月31日付け本学退職者のうち勤続期間が30年以上であって、当該勤続期間のうち本法人在職期間が15年以上である者及び勤続期間が20年以上であって、当該勤続期間のうち本法人在職期間が10年以上であり本学で永年勤続表彰を受けていない者に対して、平成30年3月14日（水）大会議室において退職者永年勤続表彰状授与式を実施し、次の被表彰者に表彰状を授与するとともに、記念品を贈呈した。

北條 礼子 教授（人文・社会教育学系）

小林 辰至 教授（自然・生活教育学系）

佐藤 悦子	教授（自然・生活教育学系）
高津戸 秀	教授（自然・生活教育学系）
市川 真澄	教授（芸術・体育教育学系）
後藤 丹	教授（芸術・体育教育学系）
亀井 宣幸	広報課長兼参事役
高倉 則男	施設課主査
飯塚 章次郎	教育支援課主査
青山 博之	教育支援課主査

○（公財）上廣倫理財団からの寄附研究部門として上廣道德教育アカデミーを設置

平成30年4月1日付けで、公益財団法人上廣倫理財団からの寄附研究部門として、上廣道德教育アカデミーを設置・開所した。

上廣道德教育アカデミーは、学校教育において教科化される道德の時間について、学校現場の教員が子どもたちに対して多様な指導法を実践することを目指し、研修と研究を推進することを目的として、設置したものである。

今後は、新潟県上越地区や新潟県内の義務教育諸学校並びに高等学校、及び教育委員会、教育センター、道德教育の充実に関する研究団体等を中心にしつつ、広く県外にもその対象を拡げながら、道德教育やその要としての「特別教科 道德」（道德科）の推進・充実に関する研修の場において、研修カリキュラムを展開していく。



○学生用プリンタ（印刷ステーション）のポイント化及び大判プリンタの有料化

平成30年4月より、印刷経費の公平・合理化のため、学生用プリンタ（印刷ステーション）のポイント化及び大判プリンタの有料化を行った。

学生用プリンタは、主に授業の課題や論文提出などの学習や学術研究で利用することができ、学生は年間200ポイント付与され、モノクロ1枚1ポイント、カラー1枚3ポイントで印刷できる。

大判プリンタは、主に授業のための教材作成など教育研究目的で利用することができ、A0サイズノビ1枚相当以下200円で印刷できる。ロール紙を持ち込む場合は料金を半額とし、横断幕等を印刷する場合は、原則ロール紙を持ち込むこととしている。

○有料プリンタの設置

平成30年4月より、学生支援の一環として附属図書館のマルチメディアコーナーに有料プリンタを設置した。（設置はサービスセンター）学生は、各自USBメモリからデータを指定し印刷

する。なお、料金はA 3 以下モノクロ 1 枚10円、カラー 1 枚30円となる。

○平成30年度図書館案内ツアー

新入生に、図書館の施設・設備を案内するとともに自動貸出装置、電動書架等の利用方法を説明した。

期 日 平成30年 4 月11日（水）～ 4 月13日（金）

場 所 附属図書館

参加人数 合計29人

○第 1 回研究基礎講座

附属図書館は、研究に役立つ基礎知識が学べるミニ講座「第 1 回研究基礎講座」を開催した。今後、授業期間中の毎月 1， 2 回開催予定である。

題 目 「研究を始める前にまずしなければならないこと」

講 師 宮崎球一(臨床・健康教育学系 助教)

期 日 平成30年 4 月26日（木）

場 所 附属図書館 2 階 melon

参加人数 合計29人

○公開講座・免許法認定公開講座

平成 30 年度に実施する公開講座等は次のとおりである。

「※」を付した講座は、公開講座に併せて、免許法認定公開講座として実施するものである。

講座名	講座概要	講 師	実施計画	開設時間	実施場所	定 員
特殊相対性理論の数学	光速一定の原理という仮定をもとに、アインシュタインはエネルギーに関する有名な式「 $E=mc^2$ 」を導きました。光速一定の原理から導かれる特殊相対性理論はそれまでのニュートン力学の概念を書き換えるものでした。高校で習う微分積分の知識があれば「 $E=mc^2$ 」を導くことができます。この講座では、高校で習う微分積分学の知識を前提として、特殊相対性理論を導く過程の数学について解説したいと思います。	自然・生活教育学系 林田 秀一 准教授	5月 9日 (水) 5月 16日 (水) 5月 23日 (水) 5月 30日 (水) 6月 6日 (水) 全5回	18:00～19:00 (1時間) 計5時間	上越教育大学 (山屋敷キャンパス) 人文棟 1 階 104 教室	一般市民 (初級) 20 人 最小実施 人数 2 人
「声」のレッスン 初夏講座	自分の「声」で表現しませんか？この講座では、発声やアナウンスの初歩からスタートして、朗読やナレーションなどを体験してもらいます。まったくの初心者の方でも参加OKです。また、読み聞かせ、音読ボランティア、ポエトリリーディングなどに携わっている方のスキルアップにもお役立てください。なお、「初秋講座」は、この「初夏講座」とは異なった内容で開講します。 ※講座の成果 (録音) は後日CD等でお渡しする予定です。	人文・社会教育学系 高本 條治 准教授	5月 26日 (土) 6月 2日 (土) 6月 9日 (土) 6月 16日 (土) 全4回	14:15～15:30 (1時間 15 分) 計5時間	上越市市民プラザ 音楽スタジオB	中学生 高校生 一般市民 (初級) 現職教員 8 人 最小実施 人数 2 人

講座名	講座概要	講 師	実施計画	開設時間	実施場所	定 員
国民の基礎知識としての政治・社会・憲法—民主主義・立憲主義の基礎を学ぶ—	イギリスのEU 離脱派の国民投票勝利, D. トランプのアメリカ大統領就任など, 世界はグローバリズムとナショナリズムの緊張関係を軸に, 新たな動きを見せています。国内においても, 憲法改正が現実的なアジェンダとなる状況があります。 こうした状況の中で, 国民としての意思決定の前提にはどのような認識的基盤が必要となるのでしょうか。 本講座は, まず近現代社会をめぐる思想的考察に関する講義を通じて社会の中における多元的価値の調整という視点を身に着け, それを踏まえた時事的問題に関するフリーディスカッションを交え, 国民としての政治に関する基盤的教養を養うことを目標とします。	人文・社会 教育学系 小島 伸之 准教授	7月14日(土) 7月21日(土) 全2回	13:30~16:10 (2時間30分 /休憩10分) 計5時間	上越教育大学(山屋敷キャンパス) 人文棟1階 107 教室	高校生 一般市民 (中級) 現職教員 10人 最小実施 人数1人
楽しいボール運動	小学生のための運動教室です。体育の授業で取り扱われるゲーム(ボールゲーム, 鬼遊び), ボール運動(ゴール型, ネット型, ベースボール型)を中心に行います。易しいゲームや簡易化されたゲームの実践を通して, 「ボール操作」の技能や「ボールを持たないときの動き」を身に付けます。また, 体づくり運動や走・跳の運動遊びの実践を通して, スポーツの基礎となる「動きづくり」を行います。	芸術・体育 教育学系 榊原 潔 准教授	7月25日(水) 7月27日(金) 7月29日(日) 7月31日(火) 8月20日(月) 8月22日(水) 全6回	9:00~10:30 (1時間30分) 計9時間	上越教育大学(山屋敷キャンパス) 体育館	小学生 40人 最小実施 人数8人

講座名	講座概要	講 師	実施計画	開設時間	実施場所	定 員
小型ロボットを用いたプログラミング入門講座	ライントレースを基本とした小型ロボットを用いてプログラミングの基本を学びましょう。この小型ロボットは、自分で書いたラインの上に命令シールを貼ることで色々な動きをします。講座では、コンピュータを使ってプログラミングも行います。小学校のプログラミング教育でも使われています。まったくプログラミングの経験が無い初心者でも大丈夫です。	自然・生活 教育学系 大森 康正 教授	7月28日(土) 全1回	13:30～16:30 (3時間) 計3時間	上越教育大学(山屋敷キャンパス) 教育情報訓練室1	小学生 (4～6年生) 中学生 20人 最小実施 人数5人
木琴をつくろう	木材には軽くて強い性質のほか、音をよく伝える性質があります。そのため、木材を利用したさまざまな楽器がつくられています。この講座では、木材の性質を学び、のこぎりで音板の長さを調節し、絵の具で音板をデザインし、世界に一つだけの木琴をつくります。	自然・生活 教育学系 東原 貴志 准教授	7月30日(月) 7月31日(火) 全2回	9:30～11:30 (2時間) 計4時間	上越教育大学(山屋敷キャンパス) 第2講義棟 003 共用講義 演習室	小学生 (3～6年生) 20人 最小実施 人数1人
ビジュアル・プログラミング言語で遊ぼう	コードスタジオ、Scratchなどのビジュアル・プログラミング言語を使って楽しくプログラミングを体験します。この体験を通してプログラミングの基礎を学ぶと共にプログラミングの楽しさを学びましょう。ここで使われる言語は、小学校で行われるプログラミング学習でも使われています。プログラミング経験はまったく無くても大丈夫です。	自然・生活 教育学系 大森 康正 教授	8月6日(月) 全1回	13:30～16:30 (3時間) 計3時間	上越教育大学(山屋敷キャンパス) 教育情報訓練室1	小学生 (3～6年生) 中学生 10人 最小実施 人数3人

講座名	講座概要	講 師	実施計画	開設時間	実施場所	定 員
LEGO EV3 を用いたプログラミング入門講座	LEGO MindStormEV3 を用いて自律型ロボットカーを組み立てます。組み立てたロボットを使いプログラミングすることで、迷路探索ロボット、サッカーロボットや自動運転カーなどを作りましょう。このロボットは、小学校や中学校などのプログラミング教育でも使われています。まったくプログラミングの経験が無い初心者でも大丈夫です。	自然・生活 教育学系 大森 康正 教授	8月17日（金） 全1回	13:00～16:30 （3.5時間） 計3.5時間	上越教育大学（山屋敷キャンパス） 教育情報訓練室1	小学生 （4～6年生） 中学生 10人 最小実施 人数3人
インテリア書入門	日本伝統文化の一つである「書」を身近な生活の中に取り入れた空間全体が作品となります。飾る場所に合わせて、書きたい言葉や材料を選び、表現していきます。書道は初めての方、大歓迎です。上手い下手関係なく、その瞬間を表現する自分の文字をインテリアとして飾ります。自分の好きな色、好きな材料を選び、表装する楽しさもトータルで味わいましょう。	学校教育実践研究センター 荒川 圭子 特任教授	8月25日（土） 8月26日（日） 全2回	9:00～12:00 （3時間） 計6時間	上越教育大学（西城キャンパス） 学校教育実践研究センター	小学生 中学生 高校生 一般市民 （入門） 現職教員 8人 最小実施 人数1人
木彫を楽しむ	日本では、太古から木に親しむ文化を育み、木を用いて様々な造形を試みてきました。自然の一部である木と対話しながら、コツコツと刻み、新しい命ある形を産み出していく楽しさは、他には得難い喜びです。 木彫は素材の扱い、刃物の手入れなどの技術が必要ですが、本講座では、基礎的な内容を身につけながら、木彫を楽しんでいきます。	芸術・体育 教育学系 松尾 大介 准教授	8月25日（土） 8月26日（日） 全2回	9:00～12:00 13:00～16:00 （6時間） 計12時間	上越教育大学（山屋敷キャンパス） 美術棟1階 106 金彫室	中学生 高校生 一般市民 （入門） 現職教員 6人 最小実施 人数2人

講座名	講座概要	講 師	実施計画	開設時間	実施場所	定 員
「声」のレッスン 初秋講座	自分の「声」で創作しませんか？ この講座では、発声や朗読の基本からスタートして、朗読劇、ラジオドラマなど、「声」の作品創作に挑戦してもらいます。演劇的手法も随所に取り入れる予定なので、舞台演劇や映像ドラマに興味がある方の参加也大歓迎です。なお、この「初秋講座」は、「初夏講座」を受講していなくても受講することができます。 ※講座の成果(録音)は後日CD等でお渡しする予定です。	人文・社会 教育学系 高本 條治 准教授	8月25日(土) 9月1日(土) 9月8日(土) 9月15日(土) 全4回	14:15～15:30 (1時間15分) 計5時間	上越市市民 プラザ 音楽スタジオB	中学生 高校生 一般市民 (初級) 現職教員 8人 最小実施 人数2人
はじめての整数論	素数は無限に多く存在します。さらにディリクレの算術級数中の素数定理によれば、初項と公差が1以外の公約数をもたない自然数であるような等差数列の中にも無限に多くの素数が存在します。本講座では2つの等差数列 $4n+1$ と $4n+3$ についてそれぞれの中に無限に多くの素数が存在することや、それぞれの素数のもつ特徴について、具体的な計算を通して解説します。 参考書：西来路文朗・清水健一著「素数が奏でる物語」、ブルーバックス、講談社、2015	自然・生活 教育学系 中川 仁 教授	8月31日(金) 9月7日(金) 9月14日(金) 9月21日(金) 9月28日(金) 全5回	19:00～21:00 (2時間) 計10時間	上越教育大学(山屋敷キャンパス) 人文棟1階 104教室	高校生 一般市民 (中級) 10人 最小実施 人数2人
日英語比較を通して読み解く近現代の日本	日本の近現代を読み解くカギの一つは日本語と英語、そして両者の隔たりです。本講座では、日英語比較という観点から第二次世界大戦終結時の日米間の交渉と日本国憲法の制定過程を考察し、平和問題について検討します。具体的には、日英語の違いが戦争終結にどう関わったのか、日本国憲法とその英語訳はどう異なるのか、またなぜ異なるのか、といった問題を取り上げる予定です。なお、受講者の英語力は特に問いません。	人文・社会 教育学系 野地 美幸 准教授	9月7日(金) 9月21日(金) 全2回	19:00～20:30 (1時間30分) 計3時間	上越教育大学(山屋敷キャンパス) 人文棟3階 305教室	一般市民 (初級) 現職教員 10人 最小実施 人数1人

講座名	講座概要	講 師	実施計画	開設時間	実施場所	定 員
歩いて知る、高田城下町の成り立ちと地形の関係	高田平野の中央に位置する高田城下町の地形は、一見、とても平坦に思えます。しかし、詳しく見てみると微妙な凸凹があることに気がつきます。高田城は、この地形をうまく利用して守りを固めています。また、高田城下町は、地形を考慮して、うまく水害を避けられるようにつくられています。本講座では、実際に高田城下町を歩いて地形や町並みを観察しながら、江戸時代の人々の知恵と工夫を知るとともに、上越地域の歴史と自然について学びます。	人文・社会 教育学系 山縣耕太郎 教授	10月7日(日) (雨天時:10月 14日(日)) 全1回	9:00~12:00 (3時間) 計3時間	高田城下町	小学生 中学生 高校生 一般市民 (入門) 現職教員 20人 最小実施 人数3人
遺伝の仕組み	カエルの子はカエルと言いますが、それは当たり前のこと、別に不思議に思われないかもしれませんが、でも、当たり前のことがどうして起こるのか、その仕組みである遺伝現象について学んでみませんか。中学校で学ぶメンデルの遺伝の法則から、親から子に伝わる遺伝子の本体「DNA」の性質と働きまで、簡単な実験や、最近の関係事例紹介(DNA鑑定、PCR検査等)も行って平易に解説します。	学校教育学 系 五百川 裕 教授	10月9日(火) 10月16日(火) 10月23日(火) 10月30日(火) 11月6日(火) 全5回	18:00~20:00 (2時間) 計10時間	上越教育大学(山屋敷キャンパス) 自然棟4階 植物分類系 統実験室	高校生 一般市民 (初級) 現職教員 5人 最小実施 人数1人
新発田藩溝口家文書からみる光長改易後の高田とその関連文書	松平光長の改易は、幕藩体制に大きな動揺をもたらしました。本講座では、これまであまり利用されてこなかった新発田藩溝口家文書に基づいて、改易後の高田城下と高田領の状況を解説すると共に、溝口家の文書管理についてご紹介します。	人文・社会 教育学系 浅倉 有子 教授	11月15日(木) 全1回	18:00~19:30 (1時間30分) 計1時間30分	上越教育大学(山屋敷キャンパス) 人文棟1階 104教室	一般市民 (中級・上級) 20人 最小実施 人数1人

講座名	講座概要	講 師	実施計画	開設時間	実施場所	定 員
和楽器に触れてみよう	様々な種類がある和楽器。実際に触れて音を鳴らし、響きと音色を味わってみませんか？ 毎回一種類ずつ、楽器を手に取り、簡単な曲を演奏することを目指します。箏、三味線、横笛、鼓を取り上げる予定です。	芸術・体育 教育学系 玉村 恭 准教授	10月31日（水） 11月14日（水） 11月28日（水） 12月12日（水） 全4回	18:30～20:00 （1時間30分） 計6時間	上越教育大学（山屋敷キャンパス） 音楽棟4階 401教室	中学生 高校生 一般市民 （入門～初級） 現職教員 8人 最小実施 人数2人

講座名	講座概要	講 師	実施計画	開設時間	実施場所	定 員
※ 理科野外観察 指導実習A 海の楽校	実習の場を海とし、海に生息する多種多様な生物の野外観察を通して、その生息環境や生物同士の関係を考え、海における野外観察のあり方、素材の提供、運営方法、指導方法、安全対策を現地で実際に学ぶことを目的とします。	渡邊 憲一 非常勤講師	6月16日（土） 6月17日（日） 2日間	9:00～17:00	新潟県立海洋高等学校 栽培漁業臨海実習棟	一般市民 （初級～中級） 現職教員 10人
※ 理科野外観察 指導実習B 森の楽校	実習の場を森とし、森に生息する多種多様な生物の野外観察を通して、その生息環境や生物同士の関係を考え、森における野外観察のあり方、素材の提供、運営方法、指導方法、安全対策を現地で実際に学ぶことを目的とします。	自然・生活 教育学系 中村 雅彦 教授	8月10日（金） 8月11日（土） 2日間	9:00～17:00	志賀高原（長野県下高井郡山ノ内町）	一般市民 （初級～中級） 現職教員 10人
※ 理科野外観察 指導実習C 川の楽校	実習の場を川とし、川に生息する多種多様な生物の野外観察を通して、その生息環境や生物同士の関係を考え、川における野外観察のあり方、素材の提供、運営方法、指導方法、安全対策を現地で実際に学ぶことを目的とします。	自然・生活 教育学系 中村 雅彦 教授	7月21日（土） 7月22日（日） 2日間	9:00～17:00	正善寺川	一般市民 （初級～中級） 現職教員 10人

講座名	講座概要	講 師	実施計画	開設時間	実施場所	定 員
※ 理科野外観察 指導実習D ミクロの世界	池や沼などでみられる浮遊生物（プランクトン）についてそのサンプリング方法や観察法について実習を通して指導します。また、走査電子顕微鏡、透過電子顕微鏡等を実際に操作しながらプランクトンの生きた姿と微細形態の観察・撮影を行います。	小川 茂 非常勤講師	8月4日（土） 8月5日（日） 2日間	9:00～17:00	上越教育大学（山屋敷キャンパス）	一般市民（初級～中級） 現職教員 10人
※ 理科野外観察 指導実習E 身近な植物	身近に生育する植物の分類、形態、生態についての観察指導のポイントを、校庭や路傍、里山の雑木林や湿地を観察場所とした実習を通して学びます。名前を知らなくとも植物の野外観察はできることを体験し、野外観察指導実践を阻むバリアーの低減をめざします。	自然・生活 教育学系 谷 友和 准教授	8月25日（土） 8月26日（日） 2日間	9:00～17:00	上越教育大学（山屋敷キャンパス）及び近隣の山野	一般市民（初級～中級） 現職教員 10人
※ 理科野外観察 指導実習F 化石を読む	初等中等教育では野外での地層観察や化石採集が求められています。本実習では、地層観察方法や化石採集方法を実習し、採集された化石などから地質時代や古環境を検討します。	自然・生活 教育学系 天野 和孝 教授	8月20日（月） 8月21日（火） 2日間	9:00～17:00	愛の風～滝寺、金谷山、平山～儀明、高住～西横山	一般市民（初級～中級） 現職教員 10人
※ 理科野外観察 指導実習G 火山とマグマ	大地の変動の観点から変成作用による地殻変動や火成活動の野外観察を行います。いろいろな岩石を観察することにより野外観察を指導するための基礎を修得し、また火山災害についての安全対策を現地で実際に学びます。	大場 孝信 非常勤講師	8月7日（火） 8月8日（水） 2日間	9:00～17:00	妙高市、糸魚川市（新潟県）	一般市民（初級～中級） 現職教員 10人

講座名	講座概要	講 師	実施計画	開設時間	実施場所	定 員
※ 理科野外観察 指導実習H 大気を調べる	1泊2日の日程で気象観測実習を行います。小・中学校のカリキュラムに出てくる、太陽の日周運動、気温と湿度の日変化、雲形・雲量、海風循環等の現象を対象とした独自の観測結果をインターネット上に公開される気象情報と比較しながら、現象の理解や説明の方法等を習得させます。	中川 清隆 非常勤講師	6月9日（土） 6月10日（日） 2日間	9:00～17:00	上越教育大学（山屋敷キャンパス）	一般市民 （初級～ 中級） 現職教員 10人
※ 理科野外観察 指導実習I 星の一日	1泊2日の日程で星の観測実習を行います。小学校3年、4年、6年の理科及び中学校理科第2分野の天文単元に出てくる、太陽、月、星座の日周運動及び星の観測の指導に適した季節、場所、方法等について、実際に観測しながら学びます。	自然・生活 教育学系 瀧崎 智佳 教授	10月6日（土） 10月7日（日） 2日間	9:00～17:00	星のふるさと館（新潟県上越市清里区）	一般市民 （初級～ 中級） 現職教員 10人
※ 理科野外観察 指導実習J 自然の見方	実習の場を学内とし、身近な自然に見られる動植物の形態や生活史を食物連鎖の視点で総合的に理解するための観察能力を、講義と実習を通して修得します。さらに、比較や分類等を通してプロセス・スキルズについても実習を通して学びます。	自然・生活 教育学系 中村 雅彦 教授	7月14日（土） 7月15日（日） 2日間	9:00～17:00	上越教育大学（山屋敷キャンパス）	一般市民 （初級～ 中級） 現職教員 10人

○海外渡航

	職 名	氏 名	渡航目的国	用 務	期 間	備 考
1	准教授	藤谷 元子	オーストラリア	平成29年度「海外（実践）フィールドスタディ」参加学生の指導及び情報収集のため	平成30年 3 月 2 日～ 平成30年 3 月11日	外国出張
2	准教授	田島 弘司	ベトナム	ベトナムのハノイにあるハノイ国家大学の日本語学科の学生を対象とした講義を実施し、講義の有効性や課題について調査することが主な目的である	平成30年 3 月 4 日～ 平成30年 3 月 9 日	外国出張
3	教授	周東 和好	台湾	平成29年度「海外教育（特別）（実践）研究E（台湾）」参加学生引率のため	平成30年 3 月 4 日～ 平成30年 3 月10日	外国出張
4	教授	北條 礼子	台湾	平成29年度「海外教育（特別）（実践）研究E（台湾）」参加学生引率のため	平成30年 3 月 4 日～ 平成30年 3 月10日	外国出張
5	教授	大前 敦巳	フランス	日仏の首都圏における大学拡張過程に関する研究報告、および今後の課題に関する意見交換と情報資料収集	平成30年 3 月 4 日～ 平成30年 3 月12日	外国出張
6	准教授	中平 一義	アメリカ	NIFI主催の熟議フォーラムを参観するため。また、フォーラム主催者にインタビューを行うため	平成30年 3 月 5 日～ 平成30年 3 月 9 日	外国出張
7	理事兼 副学長	梅野 正信	台湾	東アジアにおける戦前期の教育史研究の一環として戦前期日中台教育史関係資料の調査収集のため	平成30年 3 月 9 日～ 平成30年 3 月11日	外国出張
8	准教授	林田 秀一	イギリス	研究集会「Workshop on Jacobi Forms and Applications」に参加し講演を行う	平成30年 3 月13日～ 平成30年 3 月18日	外国出張
9	教授	下里 俊行	ロシア ポーランド	19世紀ロシア帝国の民族文化に関する資料の調査・収集	平成30年 3 月19日～ 平成30年 3 月27日	外国出張
10	校長	岩崎 浩	オーストラリア	ウェストミントースクール訪問に係る事前視察のため	平成30年 3 月20日～ 平成30年 3 月23日	外国出張
11	教諭	小林 健太	オーストラリア	ウェストミントースクール訪問に係る事前視察のため	平成30年 3 月20日～ 平成30年 3 月23日	外国出張
12	准教授	宮川 健	フランス スイス	リヨン高等師範学校の研究者と科研関連の研究推進、ローザンヌ教育大学での授業研究国際会議での研究発表	平成30年 3 月23日～ 平成30年 7 月31日	外国出張
13	教授	志村 喬	アメリカ	アメリカ地理学会年次大会での科研研究成果発表のため	平成30年 4 月 9 日～ 平成30年 4 月15日	外国出張

関係資料

平成30年度上越教育大学学校教育学部入学試験の状況

()内は女子で内数

区分	推薦入試 (募集人員 50人)				一般入試 (募集人員 110人)				私費外国人留学生特別入試 (募集人員 若干名)				計 (募集人員 160人)			
	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者
北海道					(1) 1	(1) 1							(1) 1	(1) 1		
青森県	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(2) 4	(1) 2	(1) 2	(1) 2					(3) 5	(2) 3	(2) 3	(2) 3
岩手県	(1) 2	(1) 2	1	1	(1) 1								(2) 3	(1) 2	1	1
宮城県	(1) 1	(1) 1			(2) 2	(2) 2	(1) 1	(1) 1					(3) 3	(3) 3	(1) 1	(1) 1
秋田県	(2) 2	(2) 2											(2) 2	(2) 2		
山形県	1	1			(3) 5	(1) 1							(3) 6	(1) 2		
福島県	(3) 4	(3) 4	(2) 2	(2) 2	(7) 16	(2) 9	(1) 3	(1) 3					(10) 20	(5) 13	(3) 5	(3) 5
茨城県	(2) 2	(2) 2	(1) 1	(1) 1	(2) 5	2	1	1					(4) 7	(2) 4	(1) 2	(1) 2
栃木県	1	1			(13) 25	(5) 11	(3) 6	(2) 5					(13) 26	(5) 12	(3) 6	(2) 5
群馬県	(6) 11	(5) 10	(1) 4	(1) 4	(21) 51	(7) 25	3	3					(27) 62	(12) 35	(1) 7	(1) 7
埼玉県					(6) 8	(3) 3	(2) 2	(2) 2					(6) 8	(3) 3	(2) 2	(2) 2
千葉県					(4) 7	(1) 3	1	1					(4) 7	(1) 3	1	1
東京都					(3) 7	(3) 4							(3) 7	(3) 4		
神奈川県	1	1			(1) 5	(1) 4	1	1					(1) 6	(1) 5	1	1
新潟県	(25) 38	(25) 36	(14) 20	(14) 20	(108) 202	(58) 106	(8) 19	(8) 19					(133) 240	(83) 142	(22) 39	(22) 39
富山県	(4) 8	(4) 8	(2) 5	(2) 5	(36) 53	(23) 35	(14) 19	(13) 17					(40) 61	(27) 43	(16) 24	(15) 22
石川県	(8) 12	(8) 12	(5) 6	(5) 6	(36) 60	(17) 30	(11) 21	(9) 18					(44) 72	(25) 42	(16) 27	(14) 24
福井県	2	2			(15) 23	(10) 15	(6) 8	(6) 8					(15) 25	(10) 17	(6) 8	(6) 8
山梨県	1	1			(5) 11	(4) 6	(2) 4	(2) 4					(5) 12	(4) 7	(2) 4	(2) 4
長野県	(14) 21	(14) 21	(5) 8	(5) 8	(50) 110	(30) 69	(10) 20	(9) 18					(64) 131	(44) 90	(15) 28	(14) 26
岐阜県	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(3) 14	(1) 9	3	2					(4) 15	(2) 10	(1) 4	(1) 3
静岡県	2	2	1	1	(11) 19	(7) 9	(3) 5	(3) 5					(11) 21	(7) 11	(3) 6	(3) 6
愛知県	2	2			(3) 20	(2) 13	(1) 1	(1) 1					(3) 22	(2) 15	(1) 1	(1) 1
三重県					(1) 2	(1) 2	(1) 2	(1) 2					(1) 2	(1) 2	(1) 2	(1) 2
滋賀県					2	1							2	1		
京都府					1								1			
大阪府																
兵庫県	1	1			2	1	1	1					3	2	1	1
奈良県					(1) 1								(1) 1			
和歌山県					1								1			
鳥取県					1								1			
島根県					1	1	1	1					1	1	1	1
岡山県					(1) 2	(1) 1	(1) 1						(1) 2	(1) 1	(1) 1	
広島県																
山口県																
徳島県					(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1					(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1
香川県																
愛媛県																
高知県																
福岡県																
佐賀県																
長崎県					(1) 1	(1) 1							(1) 1	(1) 1		
熊本県					(1) 1	(1) 1							(1) 1	(1) 1		
大分県																
宮崎県					1	1	1	1					1	1	1	1
鹿児島県																
沖縄県					1	1							1	1		
計	(68) 114	(67) 111	(32) 50	(32) 50	(339) 667	(184) 370	(66) 127	(60) 117					(407) 781	(251) 481	(98) 177	(92) 167
	応募者／合格者 2.3 倍				男 36.0% 女 64.0%				応募者／合格者 5.3 倍				男 44.9% 女 55.1%			

平成30年度 上越教育大学学校教育学部一般入試の状況

()内は女子で内数

区分	前期日程 (募集人員 77人)				後期日程 (募集人員 33人)				計 (募集人員 110人)			
	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者
北海道	(1) 1	(1) 1							(1) 1	(1) 1		
青森県	(2) 2	(1) 1	(1) 1	(1) 1	2	1	1	1	(2) 4	(1) 2	(1) 2	(1) 2
岩手県					(1) 1				(1) 1			
宮城県	(2) 2	(2) 2	(1) 1	(1) 1					(2) 2	(2) 2	(1) 1	(1) 1
秋田県												
山形県					(3) 5	(1) 1			(3) 5	(1) 1		
福島県	(3) 8	(2) 7	(1) 2	(1) 2	(4) 8	2	1	1	(7) 16	(2) 9	(1) 3	(1) 3
茨城県	(1) 2	1	1	1	(1) 3	1			(2) 5	2	1	1
栃木県	(3) 8	(2) 7	(1) 3	(1) 3	(10) 17	(3) 4	(2) 3	(1) 2	(13) 25	(5) 11	(3) 6	(2) 5
群馬県	(8) 24	(4) 17	1	1	(13) 27	(3) 8	2	2	(21) 51	(7) 25	3	3
埼玉県	(3) 3	(2) 2	(1) 1	(1) 1	(3) 5	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(6) 8	(3) 3	(2) 2	(2) 2
千葉県	(2) 4	(1) 3	1	1	(2) 3				(4) 7	(1) 3	1	1
東京都	(3) 3	(3) 3			4	1			(3) 7	(3) 4		
神奈川県	(1) 3	(1) 3	1	1	2	1			(1) 5	(1) 4	1	1
新潟県	(56) 102	(43) 78	(7) 14	(7) 14	(52) 100	(15) 28	(1) 5	(1) 5	(108) 202	(58) 106	(8) 19	(8) 19
富山県	(22) 33	(20) 30	(13) 16	(12) 15	(14) 20	(3) 5	(1) 3	(1) 2	(36) 53	(23) 35	(14) 19	(13) 17
石川県	(18) 28	(13) 21	(8) 14	(7) 13	(18) 32	(4) 9	(3) 7	(2) 5	(36) 60	(17) 30	(11) 21	(9) 18
福井県	(9) 13	(9) 13	(5) 7	(5) 7	(6) 10	(1) 2	(1) 1	(1) 1	(15) 23	(10) 15	(6) 8	(6) 8
山梨県	(3) 7	(3) 5	(1) 3	(1) 3	(2) 4	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(5) 11	(4) 6	(2) 4	(2) 4
長野県	(26) 55	(22) 49	(7) 13	(7) 13	(24) 55	(8) 20	(3) 7	(2) 5	(50) 110	(30) 69	(10) 20	(9) 18
岐阜県	(1) 5	(1) 5			(2) 9	4	3	2	(3) 14	(1) 9	3	2
静岡県	(6) 9	(5) 7	(3) 5	(3) 5	(5) 10	(2) 2			(11) 19	(7) 9	(3) 5	(3) 5
愛知県	(1) 11	(1) 10			(2) 9	(1) 3	(1) 1	(1) 1	(3) 20	(2) 13	(1) 1	(1) 1
三重県	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1	1	1	1	1	(1) 2	(1) 2	(1) 2	(1) 2
滋賀県					2	1			2	1		
京都府					1				1			
大阪府												
兵庫県	1	1	1	1	1				2	1	1	1
奈良県					(1) 1				(1) 1			
和歌山県					1				1			
鳥取県					1				1			
島根県	1	1	1	1					1	1	1	1
岡山県					(1) 2	(1) 1	(1) 1		(1) 2	(1) 1	(1) 1	
広島県												
山口県												
徳島県					(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1
香川県												
愛媛県												
高知県												
福岡県												
佐賀県												
長崎県	(1) 1	(1) 1							(1) 1	(1) 1		
熊本県	(1) 1	(1) 1							(1) 1	(1) 1		
大分県												
宮崎県	1	1	1	1					1	1	1	1
鹿児島県												
沖縄県					1	1			1	1		
外国												
計	(174) 329	(139) 271	(50) 88	(48) 86	(165) 338	(45) 99	(16) 39	(12) 31	(339) 667	(184) 370	(66) 127	(60) 117
		応募者／合格者 3.7 倍	男 3.7 倍	44.2% 55.8%		応募者／合格者 8.7 倍	男 8.7 倍	61.3% 38.7%		応募者／合格者 5.3 倍	男 5.3 倍	48.7% 51.3%

平成30年度上越教育大学大学院学校教育研究科入学試験の状況

■ 課程・専攻・コース別

課程	専攻・コース	前期募集 (試験日:29.8.24)					中期募集 (試験日:29.11.25)					後期募集 (試験日:30.3.2)					第2次募集 (試験日:30.3.17)					合 計				
		募集 人員	応募者	受験者	合格者	入学者	募集 人員	応募者	受験者	合格者	入学者	募集 人員	応募者	受験者	合格者	入学者	募集 人員	応募者	受験者	合格者	入学者	入学 定員	応募者	受験者	合格者	入学者
修士課程	学校教育専攻	94	(15) 78	(15) 76	(15) 70	(13) 54	53	(7) 38	(7) 34	(7) 32	(7) 30	35	7	7	4	4	25	1				116	(22) 124	(22) 117	(22) 106	(20) 88
	グローバル・ICT・学習研究 コース	26	(6) 17	(6) 17	(6) 17	(6) 14	17	(4) 12	(4) 10	(4) 10	(4) 10	8	1	1	1	1	9					[34]	(10) 30	(10) 28	(10) 28	(10) 25
	道徳・生徒指導コース	9	(1) 6	(1) 6	(1) 5	(1) 4	7	(1) 8	(1) 6	(1) 6	(1) 5	5	2	2	1	1	若干人	1				[12]	(2) 17	(2) 14	(2) 12	(2) 10
	教育連携コース	17	(1) 11	(1) 11	(1) 10	(1) 9	12	(1) 4	(1) 4	(1) 4	(1) 4	10	1	1	1	1	8					[22]	(2) 16	(2) 16	(2) 15	(2) 14
	臨床心理学コース	18	(4) 28	(4) 26	(4) 22	(2) 14	若干人	5	5	3	3	若干人	2	2								[18]	(4) 35	(4) 33	(4) 25	(2) 17
	幼年教育コース	5	3	3	3	3	5	2	2	2	2	5					若干人					[5]	5	5	5	5
	特別支援教育コース	19	(3) 13	(3) 13	(3) 13	(3) 10	12	(1) 7	(1) 7	(1) 7	(1) 6	7	1	1	1	1	8					[25]	(4) 21	(4) 21	(4) 21	(4) 17
	教科・領域教育専攻	101	(10) 49	(10) 49	(10) 48	(10) 39	76	(4) 41	(4) 35	(4) 32	(3) 25	55	13	11	11	9	42	3	2	2	2	124	(14) 106	(14) 97	(14) 93	(13) 75
	言語系教育実践コース	20	(2) 13	(2) 13	(2) 13	(2) 10	12	(1) 13	(1) 12	(1) 11	(1) 10	5	3	3	3	2	若干人	2	2	2	2	[25]	(3) 31	(3) 30	(3) 29	(3) 24
	社会系教育実践コース	17	(1) 3	(1) 3	(1) 3	(1) 3	18	(1) 7	(1) 4	(1) 4	2	15	2	2	2	2	13					[21]	(2) 12	(2) 9	(2) 9	(1) 7
	自然系教育実践コース	21	(2) 15	(2) 15	(2) 13	(2) 9	12	6	5	3	1	13	2	1	1	1	12					[25]	(2) 23	(2) 21	(2) 17	(2) 11
	芸術系教育実践コース	21	8	8	8	8	17	5	5	5	4	13	5	4	4	4	8	1				[25]	19	17	17	16
	生活・健康系教育実践 コース	22	(5) 10	(5) 10	(5) 11	(5) 9	17	(2) 10	(2) 9	(2) 9	(2) 8	9	1	1	1		9					[28]	(7) 21	(7) 20	(7) 21	(7) 17
	小 計	195	(25) 127	(25) 125	(25) 118	(23) 93	129	(11) 79	(11) 69	(11) 64	(10) 55	90	20	18	15	13	67	4	2	2	2	240	(36) 230	(36) 214	(36) 199	(33) 163
専門職学位課程	教育実践高度化専攻	45	(14) 42	(14) 42	(14) 42	(14) 35	42	(7) 47	(7) 42	(7) 42	(6) 38	14	(5) 10	(5) 10	(5) 10	(5) 10	9					60	(26) 99	(26) 94	(26) 94	(25) 83
	教育臨床コース	30	(11) 39	(11) 39	(11) 39	(11) 32	25	(4) 44	(4) 39	(4) 39	(3) 35	若干人	5	5	5	5						[40]	(15) 88	(15) 83	(15) 83	(14) 72
	教育経営コース	15	(3) 3	(3) 3	(3) 3	(3) 3	17	(3) 3	(3) 3	(3) 3	(3) 3	14	(5) 5	(5) 5	(5) 5	(5) 5	9					[20]	(11) 8	(11) 8	(11) 8	(11) 8
	小 計	45	(14) 42	(14) 42	(14) 42	(14) 35	42	(7) 47	(7) 42	(7) 42	(6) 38	14	(5) 10	(5) 10	(5) 10	(5) 10	9					60	(26) 99	(26) 94	(26) 94	(25) 83
合 計		240	(39) 169	(39) 167	(39) 160	(37) 128	171	(18) 126	(18) 111	(18) 106	(16) 93	104	(5) 30	(5) 28	(5) 25	(5) 23	76	4	2	2	2	300	(62) 329	(62) 308	(62) 293	(58) 246

※1 入学定員欄の [] 内は、標準学生数を示す。

2 () 内の数字は、現職教員で3年以上の教職経験者数を示し内数である。

3 教育経営コースの○数字は、1年制プログラム受講申請者を示し内数である。

4 前期募集・中期募集・後期募集の応募者数及び受験者数は、第1志望の人数を示している。

■ 都道府県別

区分	前期募集				中期募集				後期募集				第2次募集				合 計			
	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者
北海道	6	6	6	4	2	2	2	2	1	1	1	1					9	9	9	7
青森県	1	1	1		(2) 2	(2) 2	(2) 2	(2) 2									(2) 3	(2) 3	(2) 3	(2) 2
岩手県	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1	1	1	1										(1) 2	(1) 2	(1) 2	(1) 1
宮城県	1	1	1	1	1	1	1	1									2	2	2	2
秋田県	2	2	2	2	1	1	1	1	1								4	3	3	3
山形県					1	1	1	1									1	1	1	1
福島県	(2) 3	(2) 3	(2) 2	(2) 2	1	1											(2) 4	(2) 4	(2) 2	(2) 2
茨城県	3	3	3	2	3	3	3	3									6	6	6	5
栃木県	3	3	3	3	3	3	3	3									6	6	6	6
群馬県					(4) 4	(4) 4	(4) 4	(4) 4									(4) 4	(4) 4	(4) 4	(4) 4
埼玉県	(1) 7	(1) 7	(1) 7	5	(1) 3	(1) 2	(1) 2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	(2) 12	(2) 11	(2) 11	8
千葉県	(1) 8	(1) 8	(1) 8	(1) 7	2	2	2	1					1	1	1	1	(1) 11	(1) 11	(1) 11	(1) 9
東京都	(1) 28	(1) 27	(1) 26	(1) 22	28	20	19	18	4	4	4	3					(1) 60	(1) 51	(1) 49	(1) 43
神奈川県	6	6	5	2	5	5	5	4	3	3	3	3					14	14	13	9
新潟県	(28) 50	(28) 50	(28) 50	(28) 47	(8) 31	(8) 29	(8) 28	(8) 28	(5) 9	(5) 9	(5) 8	(5) 8					(41) 90	(41) 88	(41) 86	(41) 83
富山県	3	2	2	1	3	3	3	3									6	5	5	4
石川県	7	7	7	5	7	5	5	2	1	1	1	1	1				16	13	13	8
福井県					(1) 2	(1) 2	(1) 2	(1) 2									(1) 2	(1) 2	(1) 2	(1) 2
山梨県	2	2	2	1	3	3	3	2									5	5	5	3
長野県	(3) 21	(3) 21	(3) 19	(2) 13	3	3	3	3	1	1	1	1					(3) 25	(3) 25	(3) 23	(2) 17
岐阜県	1	1	1		1	1	1	1									2	2	2	1
静岡県	2	2	2	2	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1									(1) 3	(1) 3	(1) 3	(1) 3
愛知県	3	3	2	1	1	1	1	1									4	4	3	2
三重県	1	1	1	1													1	1	1	1
滋賀県					1	1	1										1	1	1	
京都府					1												1			
大阪府	1	1	1	1													1	1	1	1
兵庫県	1	1	1	1	2	2	1		1	1							4	4	2	1
奈良県																				
和歌山県	(1) 2	(1) 2	(1) 2	(1) 1													(1) 2	(1) 2	(1) 2	(1) 1
鳥取県																				
島根県					(1) 1	(1) 1	(1) 1	1									(1) 1	(1) 1	(1) 1	1
岡山県																				
広島県																				
山口県																				
徳島県					1	1	1	1									1	1	1	1
香川県					1	1	1										1	1	1	
愛媛県					1	1	1	1									1	1	1	1
高知県																				
福岡県	1	1															1	1		
佐賀県					1	1											1	1		
長崎県					1	1	1										1	1	1	
熊本県					1	1	1	1									1	1	1	1
大分県	1	1	1	1													1	1	1	1
宮崎県																				
鹿児島県																				
沖縄県	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1					1	1	1	1					(1) 2	(1) 2	(1) 2	(1) 2
外国	3	3	3	1	6	5	5	5	7	6	5	4	1				17	14	13	10
計	(39) 169	(39) 167	(39) 160	(37) 128	(18) 126	(18) 111	(18) 106	(16) 93	(5) 30	(5) 28	(5) 25	(5) 23	4	2	2	2	(62) 329	(62) 308	(62) 293	(58) 246

注) 1 ()内は、現職教員(3年以上の教職経験を有する者)を内数で示す。

主要日誌

■大学

月 日	事 項
3月1日 (木)	第4回情報戦略室評価部門会議
3月2日 (金)	平成30年度大学院入試 (後期募集)
3月5日 (月)	第2回CST養成事業実施委員会 スタッフ・ディベロップメント研修
3月6日 (火)	第240回教授会 平成29年度国際交流のつどい 第14回入学試験委員会 学生表彰
3月7日 (水)	第223回教育研究評議会 第2回修了生・卒業生に対する研究助成選考委員会 平成29年度課外活動団体リーダーズ・トレーニング研修 (～8日(木)) 第11回衛生委員会
3月8日 (木)	平成30年度学部一般入試 (前期募集) 合格者発表 第7回施設安全・環境委員会 第5回学校ボランティア支援室会議
3月12日 (月)	平成30年度学部一般入試 (後期募集)
3月13日 (火)	第15回入学試験委員会 第15回教務委員会 第8回学生委員会
3月14日 (水)	第224回教育研究評議会 第241回教授会 第20回大学改革推進委員会 平成29年度退職者永年勤続表彰状授与式
3月15日 (木)	平成29年度上越教育大学コア・サイエンス・ティーチャー(CST) 認定証授与式 第2回上越教育大学第一種学資金返還免除候補者選考委員会
3月16日 (金)	第5回情報戦略室IR部門会議 平成30年度大学院入試 (後期募集) 合格者発表 第5回教育実習委員会
3月17日 (土)	平成30年度大学院入試 (第2次学生募集)
3月18日 (日)	学生表彰式
3月19日 (月)	平成29年度学位記授与式 平成29年度卒業証書・学位記授与式 学生表彰
3月20日 (火)	第225回教育研究評議会 第242回教授会 第16回入学試験委員会
3月22日 (木)	第5回地域連携推進室会議 平成30年度学部一般入試 (後期日程) 合格者発表 平成30年度大学院入試 (第2次学生募集) 合格者発表 第3回障害学生支援室会議
3月23日 (金)	第118回役員会 第58回経営協議会 第82回カリキュラム企画運営会議 第7回総合学生支援室会議
3月24日 (土)	平成29年度兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科学学位記授与式
3月26日 (月)	平成29年度ハラスメント防止研修
3月28日 (水)	第3回大学教員学校現場研修委員会
4月4日 (水)	第49回情報・広報委員会 第1回教育実習委員会
4月5日 (木)	平成30年度新任職員研修
4月6日 (金)	平成30年度入学式 平成30年度新入生オリエンテーション (～7日(土))

月 日	事 項
4月7日 (土)	情報セキュリティ講演会
4月9日 (月)	平成30年度兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科入学式
4月10日 (火)	第1回教員免許状更新講習実施委員会
4月11日 (水)	第1回学校ボランティア支援室会議 新入生ノートパソコン準備講習会 (～18日 (水)) 平成30年度図書館案内ツアー (～13日 (金)) 第1回教育実習協力校 (園) 会議
4月16日 (月)	第21回大学改革推進委員会
4月18日 (水)	第119回役員会 第226回教育研究評議会 第6回創立40周年記念行事準備委員会 第1回入学試験委員会 平成30年度ボランティア体験連絡会
4月19日 (木)	第1回教務委員会
4月20日 (金)	平成30年度新入生合宿研修 (～21日 (土))
4月23日 (月)	第1回情報戦略室評価部門会議 第1回国際交流推進センター運営委員会 第1回施設安全・環境委員会 第83回カリキュラム企画運営会議
4月25日 (水)	第243回教授会 第1回研究倫理審査委員会 第2回連合大学院運営会議 第1回学生委員会
4月26日 (木)	第1回研究基礎講座
4月27日 (金)	第1回配分予算検討委員会

■附属幼稚園

月 日	事 項
3月2日 (金)	身体計測
3月15日 (木)	第24回修了証書授与式
3月19日 (月)	第3学期終業式
3月26日 (月)	離任式
4月1日 (日)	開園記念日
4月6日 (金)	一日入園
4月9日 (月)	新任式 第1学期始業式
4月10日 (火)	第27回入園式
4月25日 (水)	教育相談ウィーク (～27日 (金))

■附属小学校

月 日	事 項
3月1日 (木)	第2回学校評議員会
3月2日 (金)	欠員募集願書受付締切
3月9日 (金)	安全の日
3月10日 (土)	欠員募集選考検査
3月12日 (月)	給食最終日
3月15日 (木)	第3学期終業式
3月16日 (金)	第37回卒業証書授与式
3月19日 (月)	学年末休業日 (～31日 (土))
3月26日 (月)	離任式
4月9日 (月)	入学式 第1学期始業式 2～6年給食開始
4月10日 (火)	安全の日 発育測定
4月12日 (木)	視力検査 (2・4・6年)
4月13日 (金)	1年生給食開始
4月17日 (火)	全国学力・学習状況調査 (6年)
4月19日 (木)	尿検査 (1次)

月 日	事 項
4月20日 (金)	視力検査 (1・3・5年)
	聴力検査 (1・3・5年)
4月23日 (月)	内科検診 (3・4年)
4月25日 (水)	避難訓練

■附属中学校

月 日	事 項
3月10日 (土)	第37回卒業式
3月12日 (月)	2年修学旅行 (～16日 (金))
3月23日 (金)	第3学期終業式
3月26日 (月)	離任式
4月6日 (金)	新任式
	第1学期始業式
4月9日 (月)	第38回入学式
4月11日 (水)	観桜会おもてなしプロジェクト (～12日 (木))
4月12日 (木)	学力検査
4月17日 (火)	全国学力・学習状況調査 (3年)
4月23日 (月)	第1回避難訓練



上越教育大学学報

第 144 号 平成 30 年 5 月 10 日発行

上越教育大学総務課

〒943-8512 上越市山屋敷町 1 番地

電話 025-521-3214